

秋田県沖合域の水温状況 (平成26年4月)

漁業調査指導船「千秋丸」により4月2～3日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」水温です。
- 50 m層(3ページ) おおむね「平年並み」です。
- 100m層(4ページ) おおむね「平年並み」です。
- 200m層(5ページ) おおむね「平年並み」です。
- 300m層(6ページ) おおむね「平年並み」です。

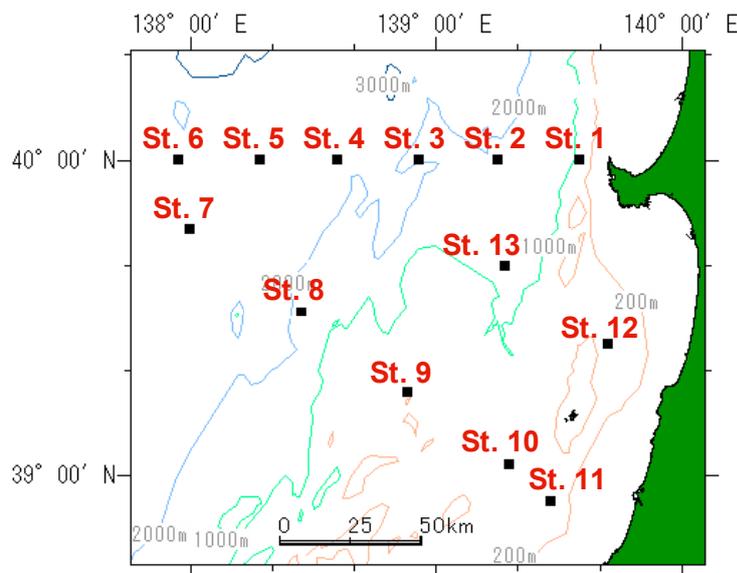


図1 調査船千秋丸による観測定点 (St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

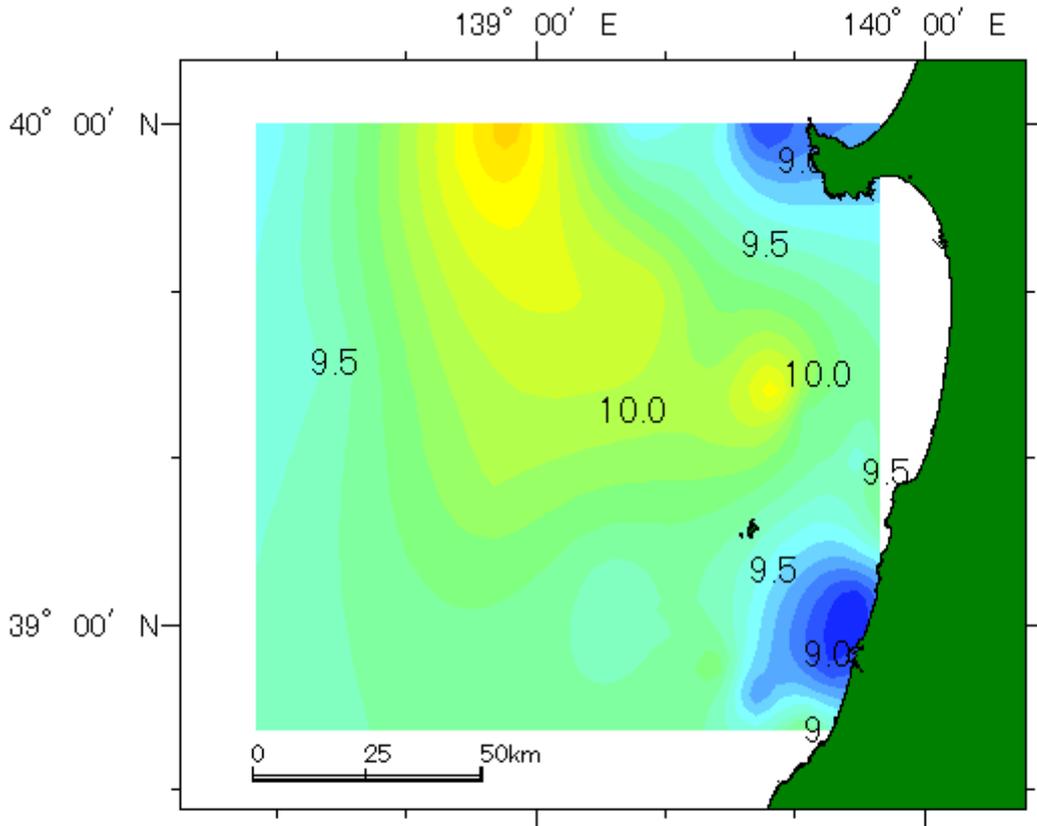


図2 表層の水温分布

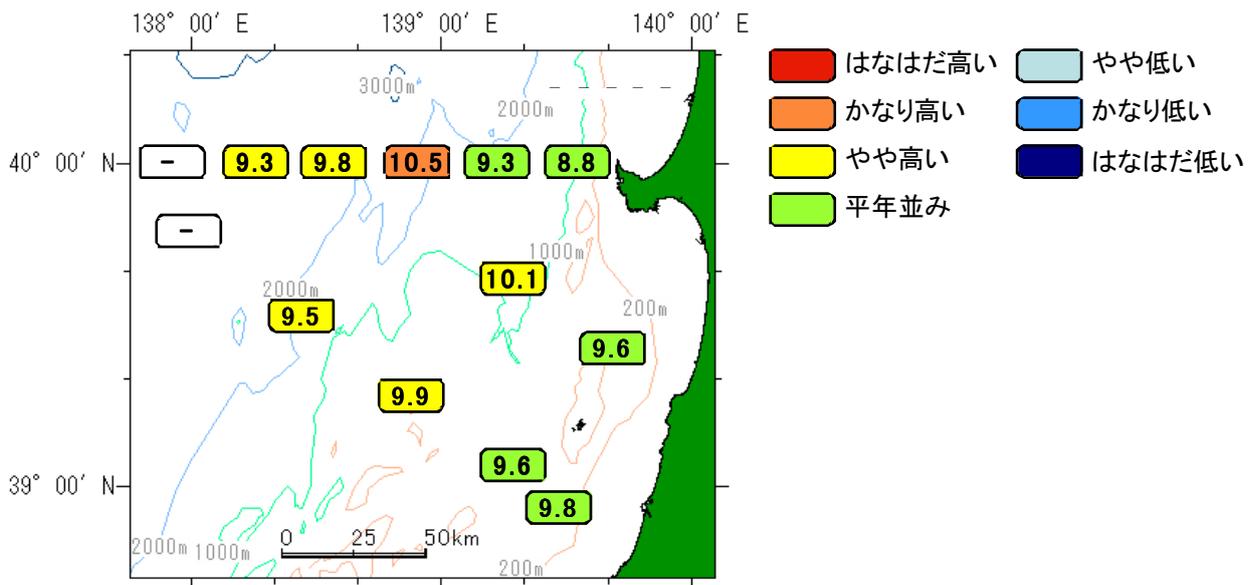


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

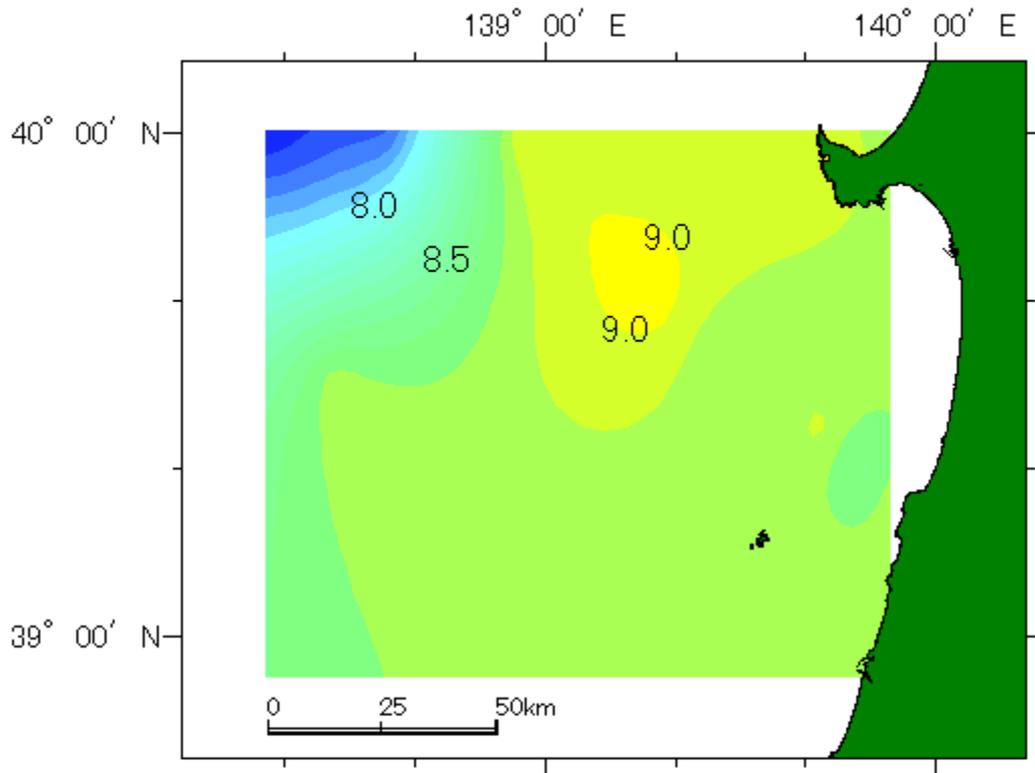


図4 水深50m層の水温分布

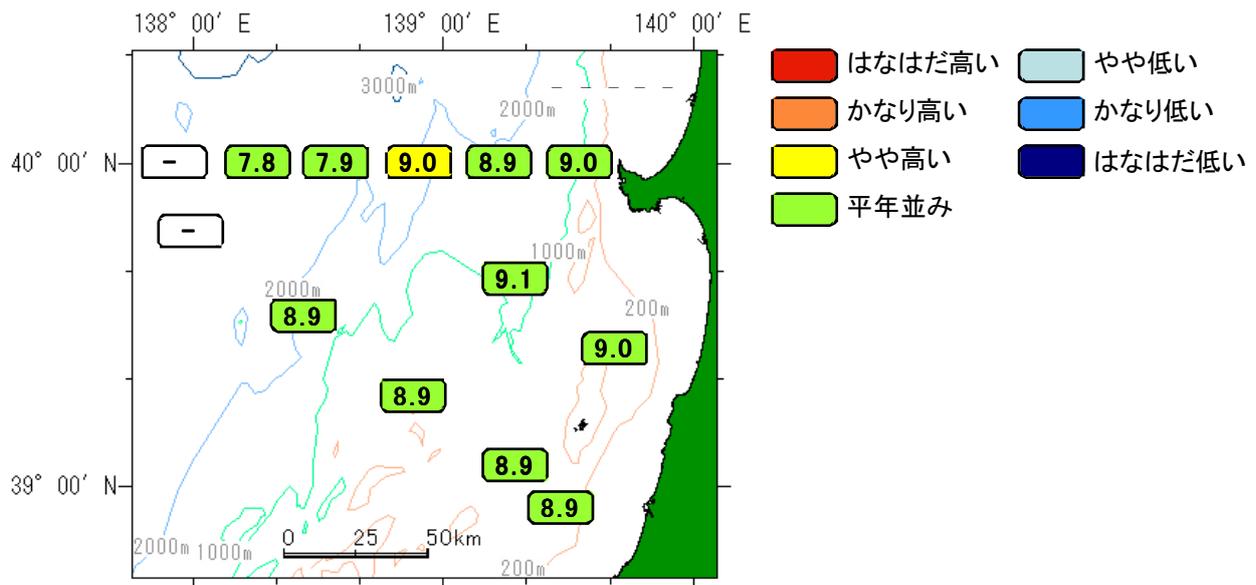


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

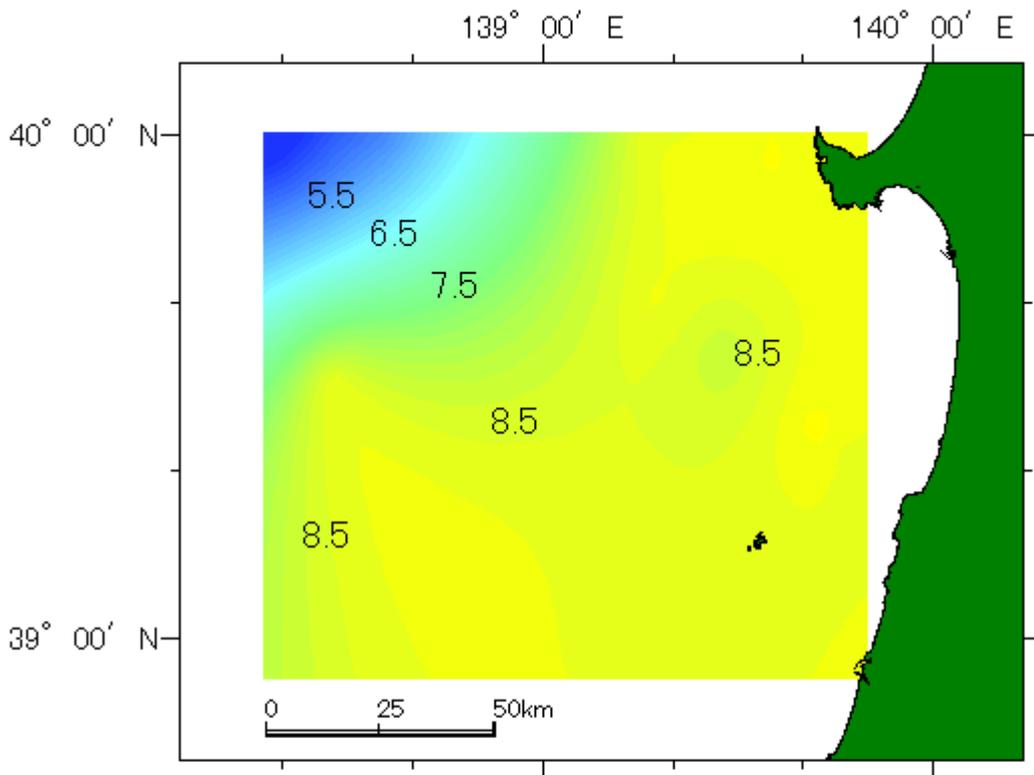


図6 水深100m層の水温分布

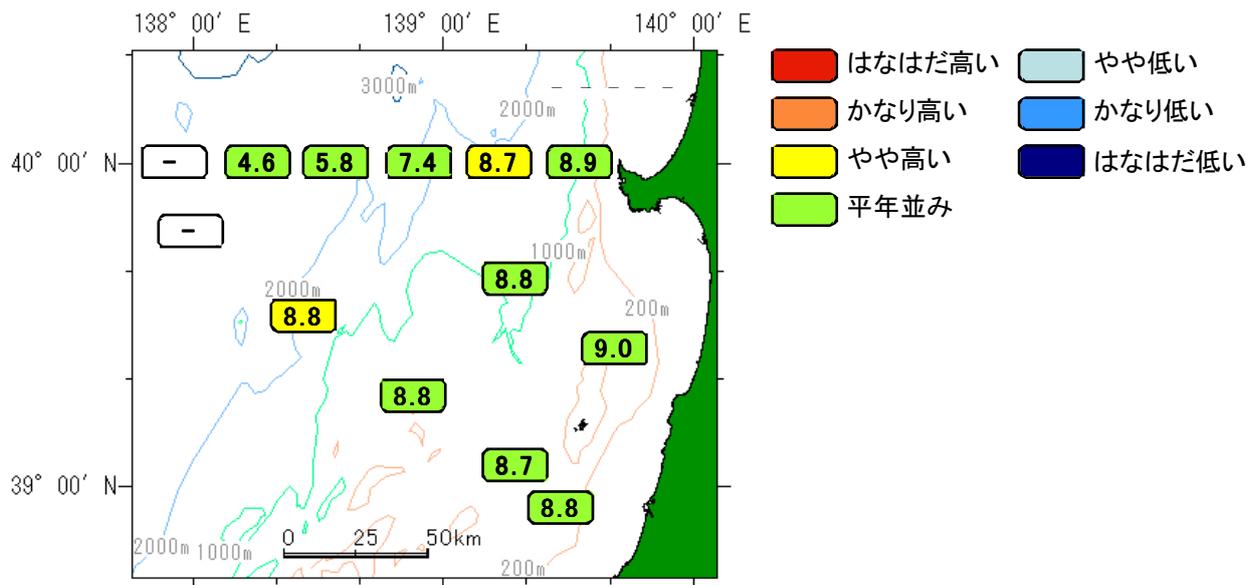


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

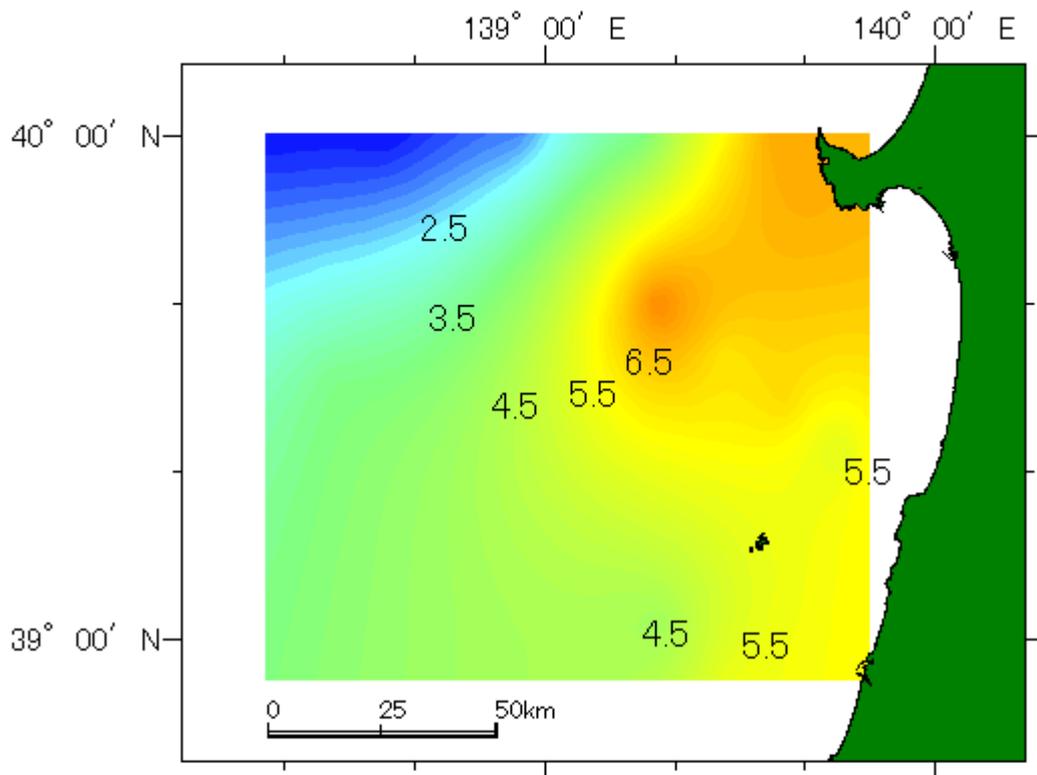


図8 水深200m層の水温分布

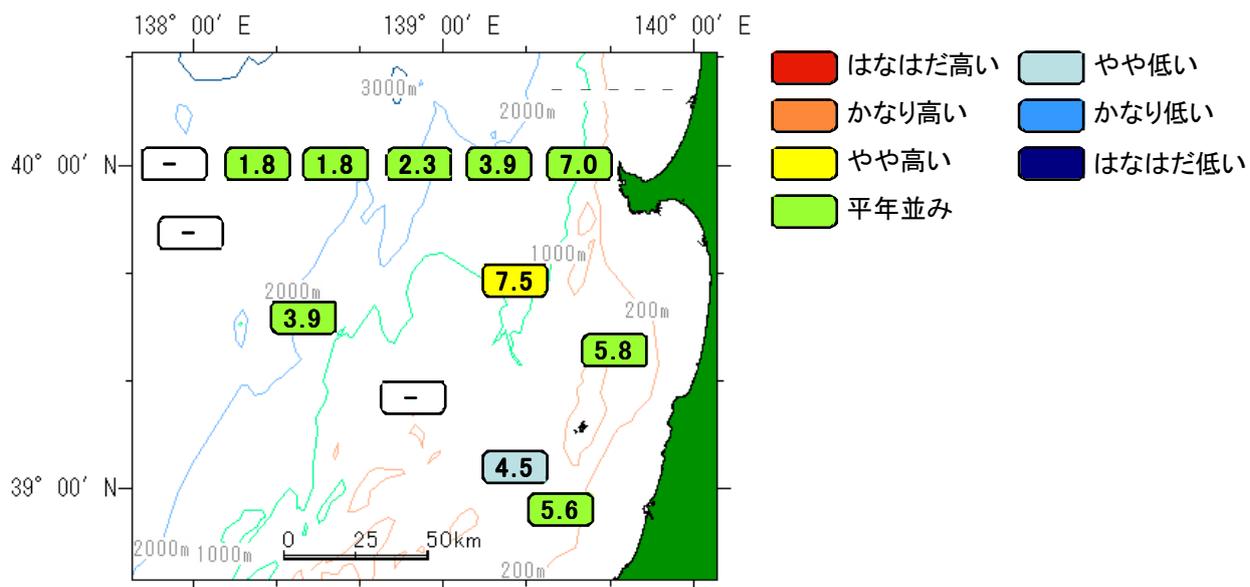


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

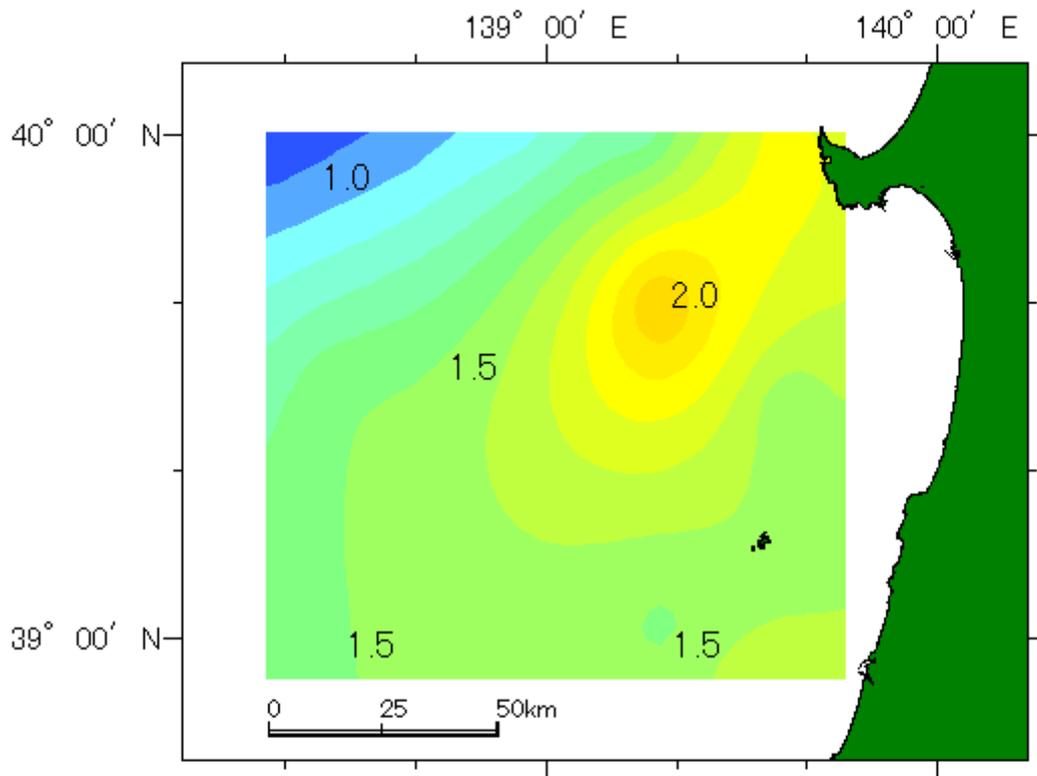


図9 水深300m層の水温分布

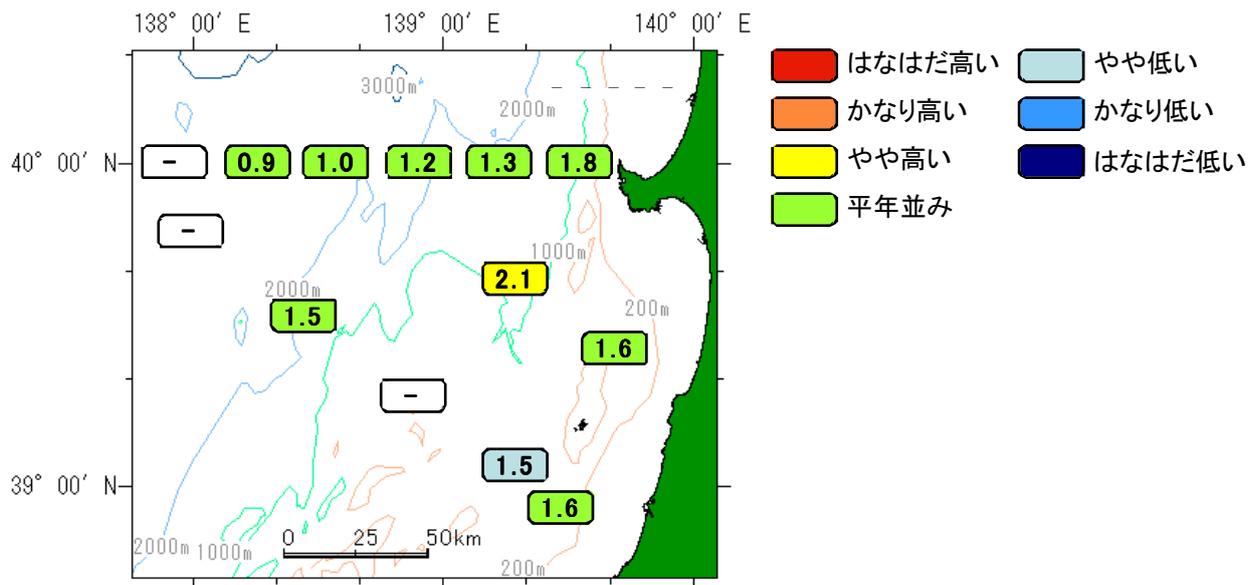


図10 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成26年5月)

漁業調査指導船「千秋丸」により4月30～5月1日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) おおむね「やや高い」～「はなはだ高い」水温です。
- 50 m層(3ページ) おおむね「やや低い」～「平年並み」です。
- 100m層(4ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」です。
- 200m層(5ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」です。
- 300m層(6ページ) おおむね「平年並み」です。

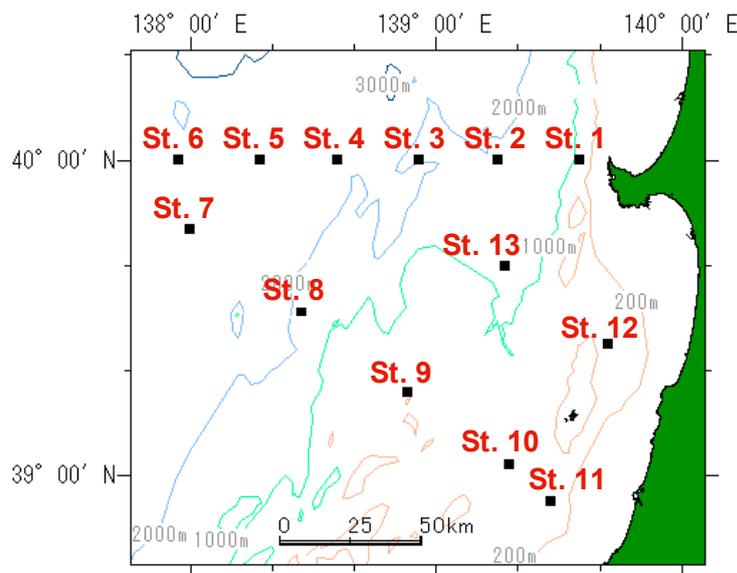


図1 調査船千秋丸による観測定点 (St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

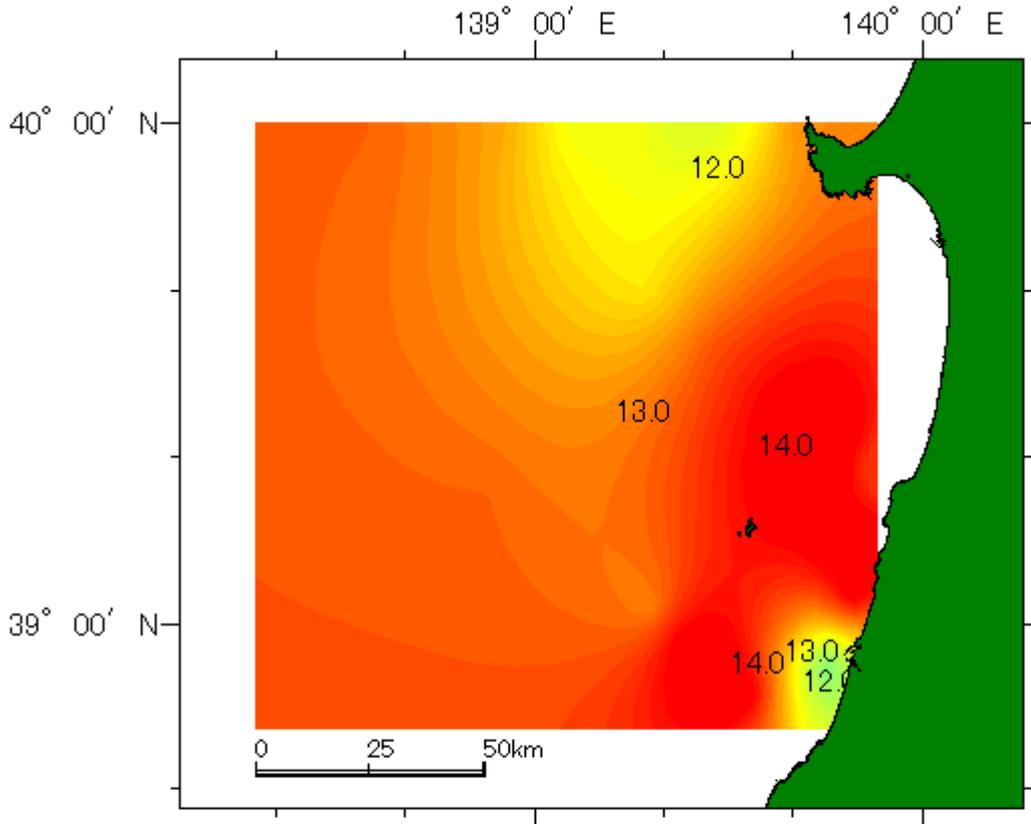


図2 表層の水温分布

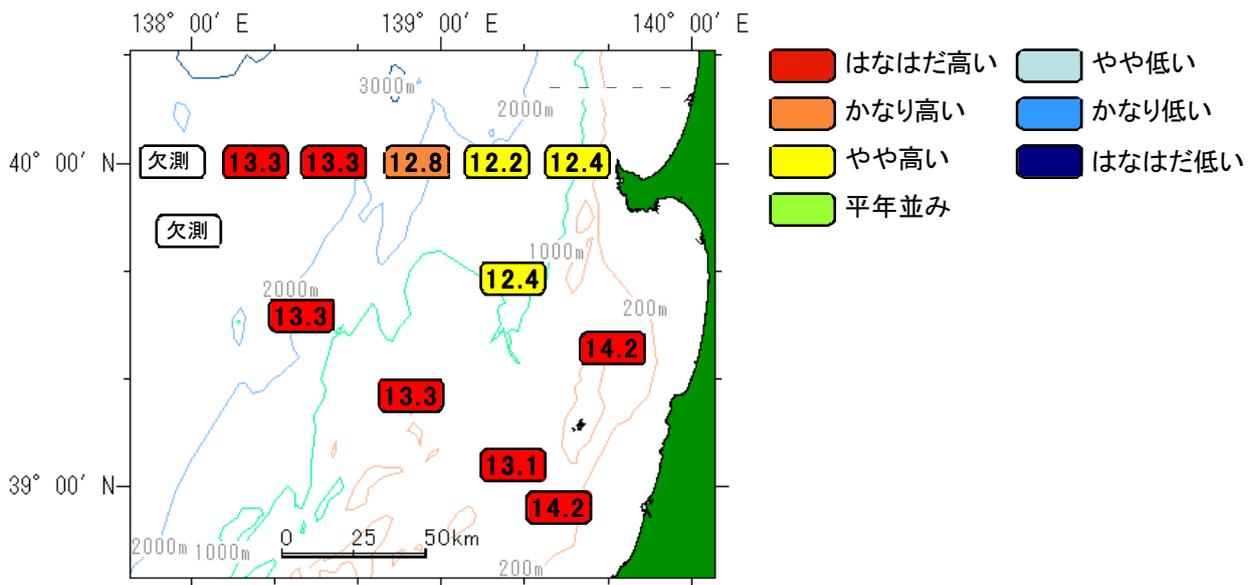


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

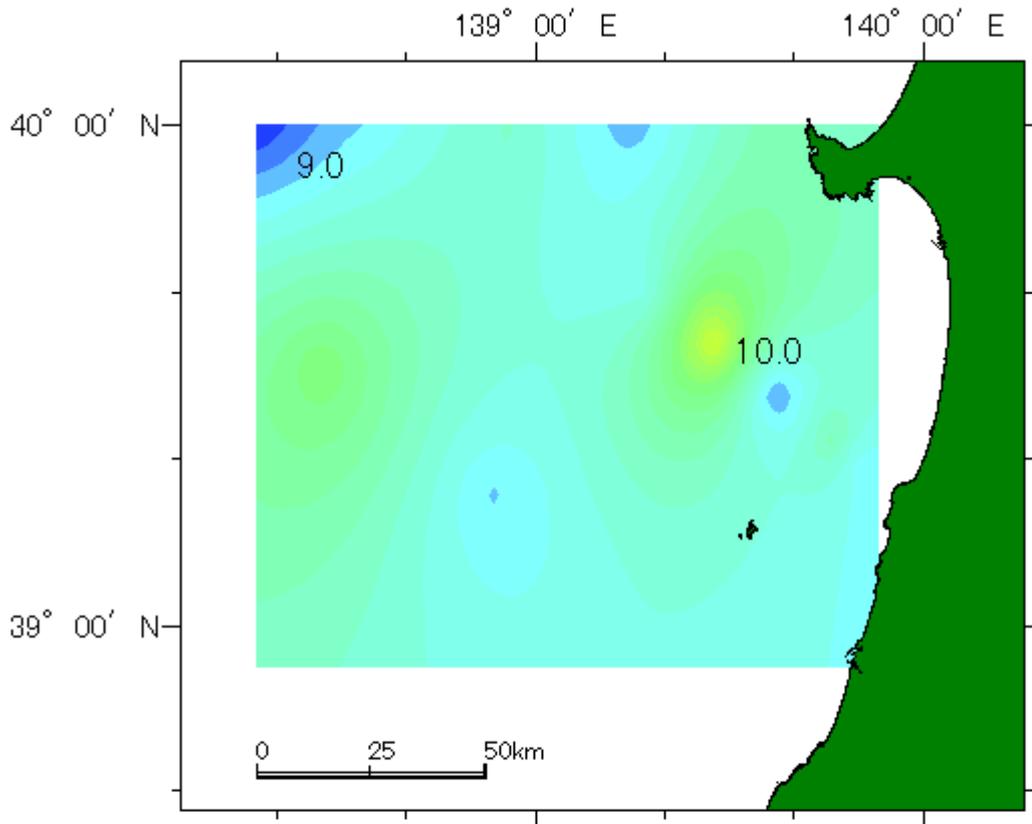


図4 水深50m層の水温分布

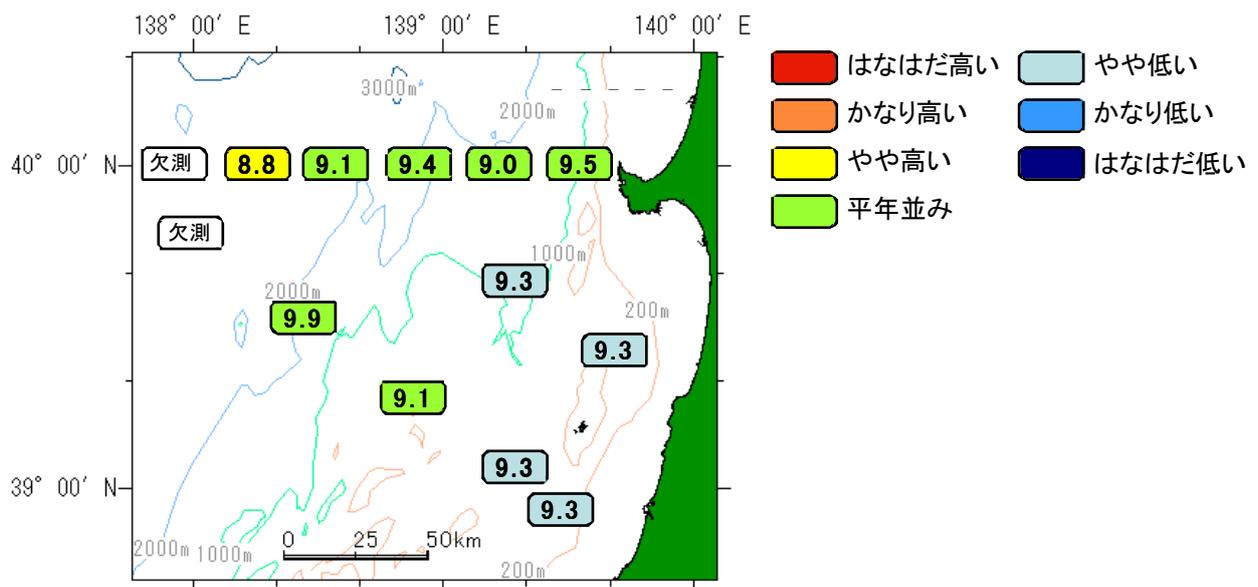


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

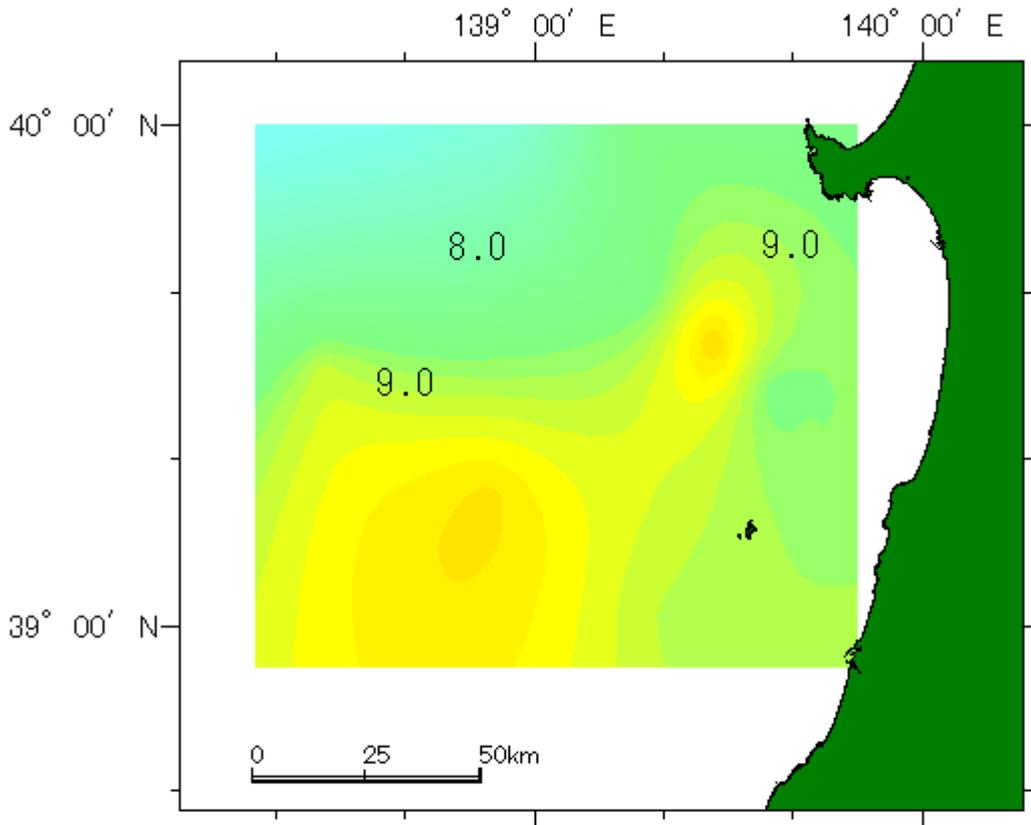


図6 水深100m層の水温分布

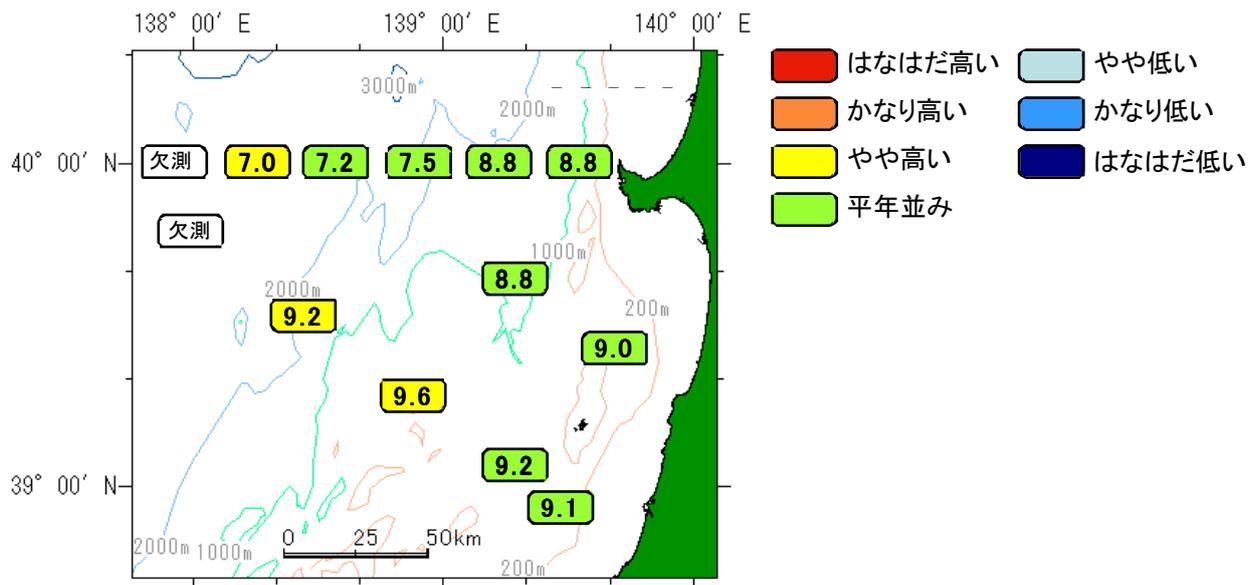


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

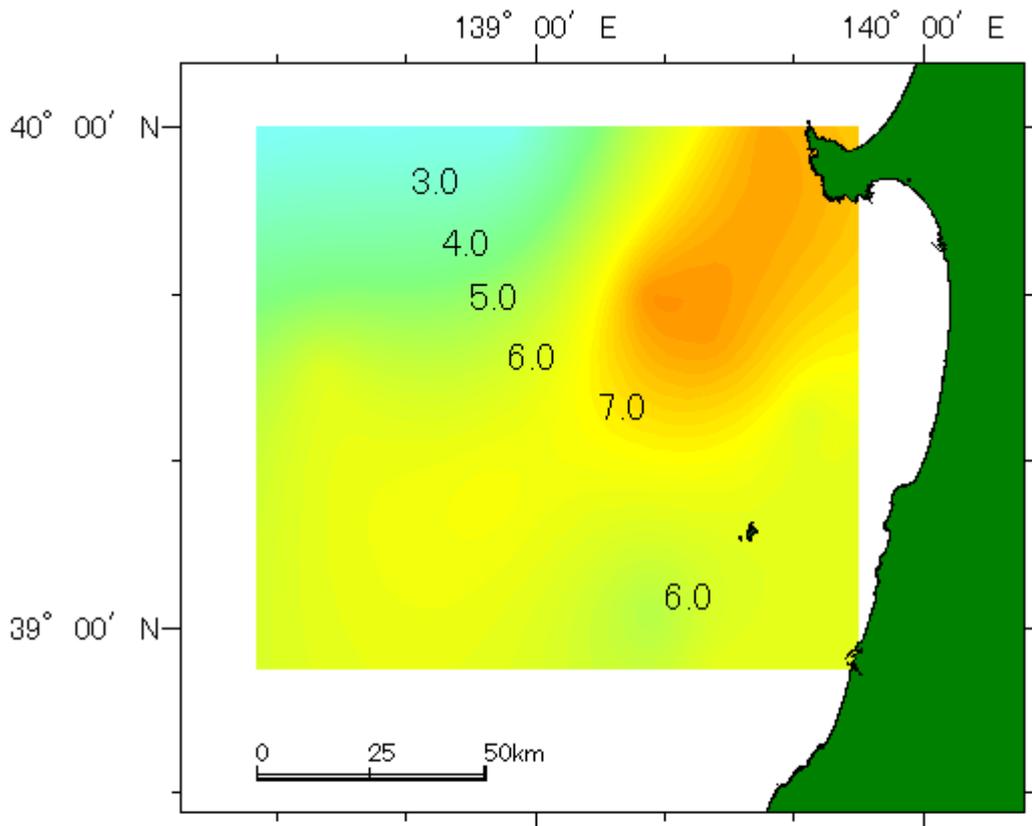


図8 水深200m層の水温分布

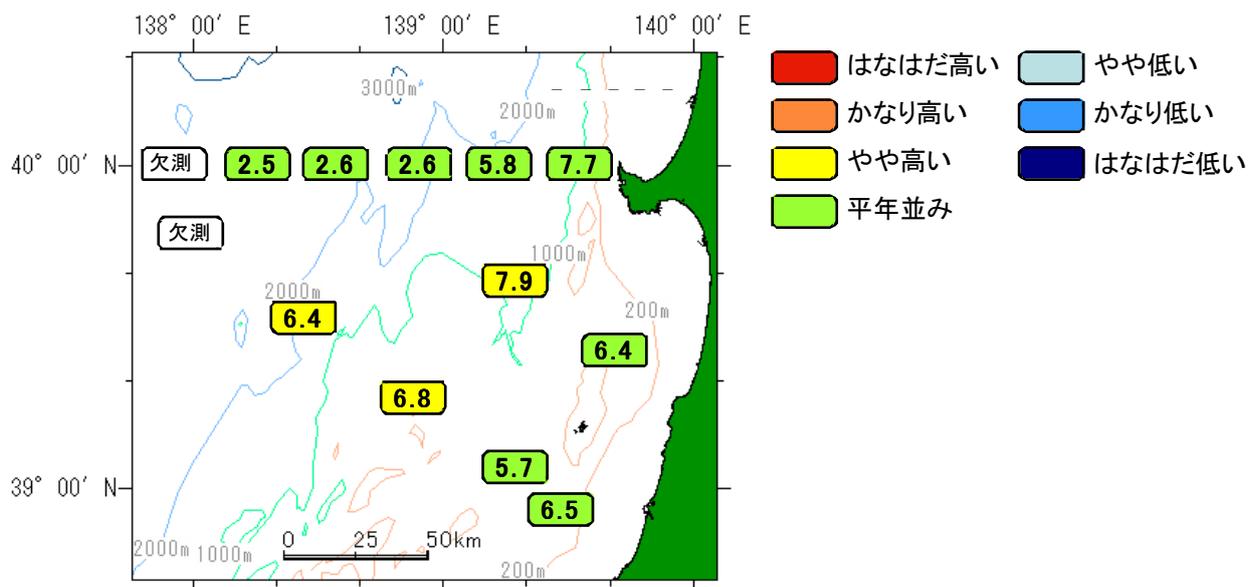


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

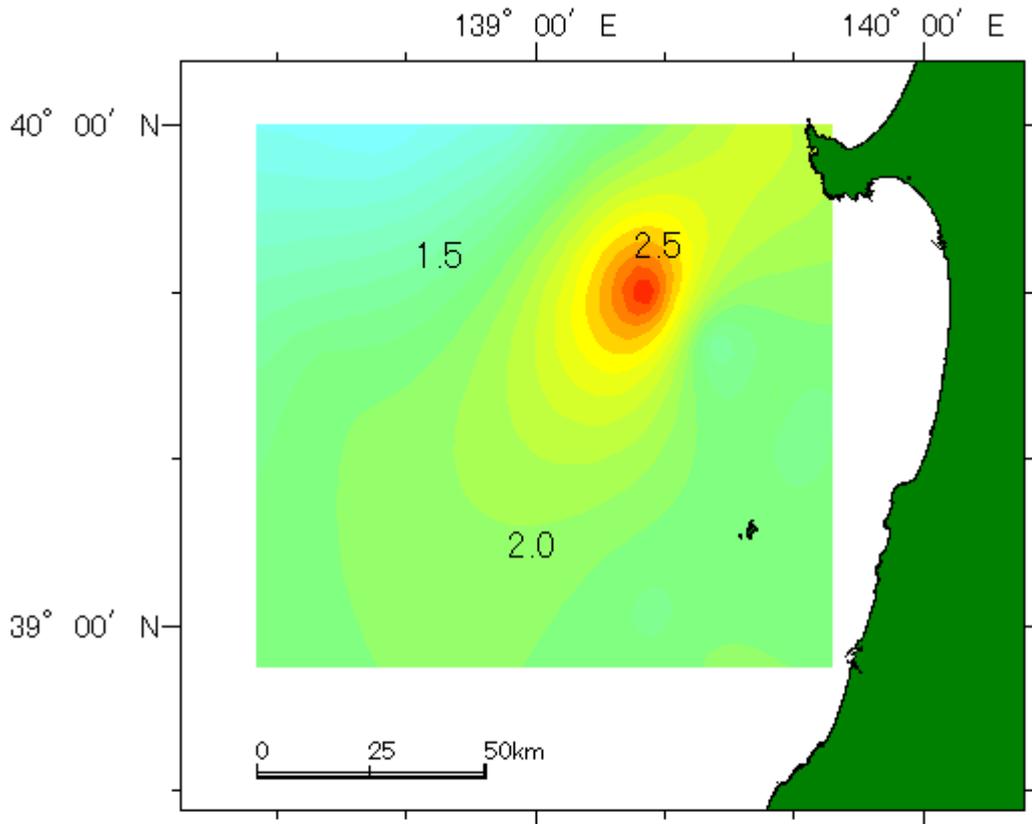


図9 水深300m層の水温分布

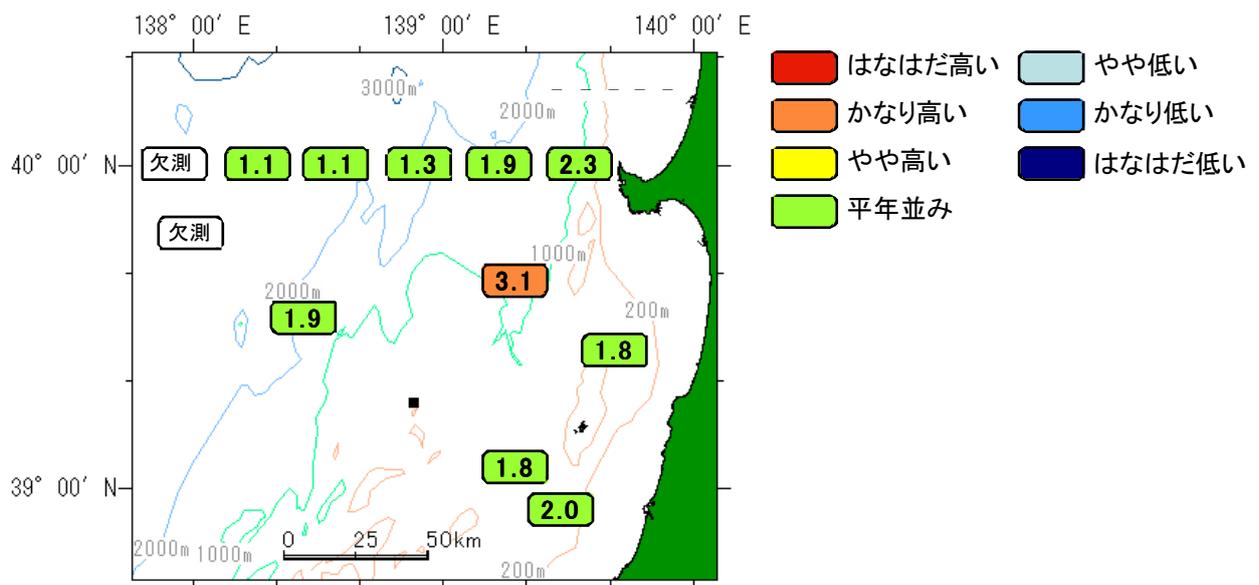


図10 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成26年6月)

漁業調査指導船「千秋丸」により6月2～3日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表 層(2ページ) おおむね「かなり高い」～「はなはだ高い」水温です。
 50 m層(3ページ) おおむね「平年並み」～「かなり高い」水温です。
 100m層(4ページ) おおむね「やや低い」～「かなり高い」水温です。
 200m層(5ページ) おおむね「かなり低い」～「やや高い」水温です。
 300m層(6ページ) おおむね「平年並み」です。

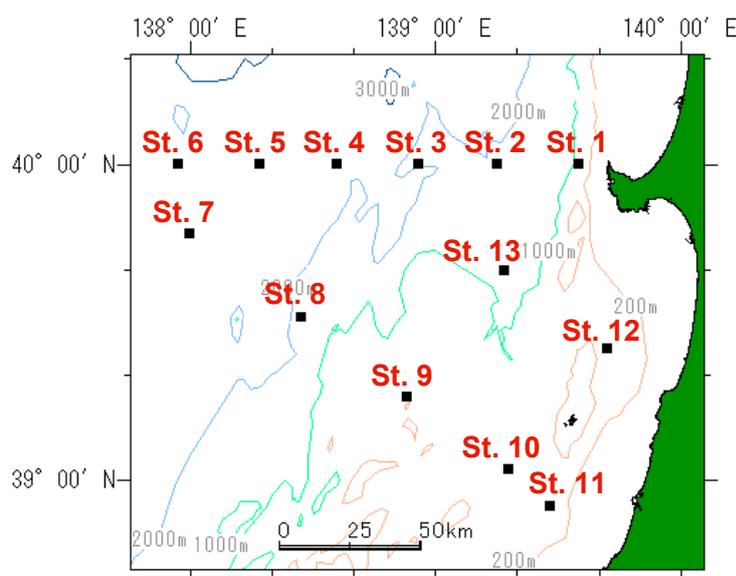


図1 調査船千秋丸による観測定点 (St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+ 61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	± 60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	- 61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
 平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

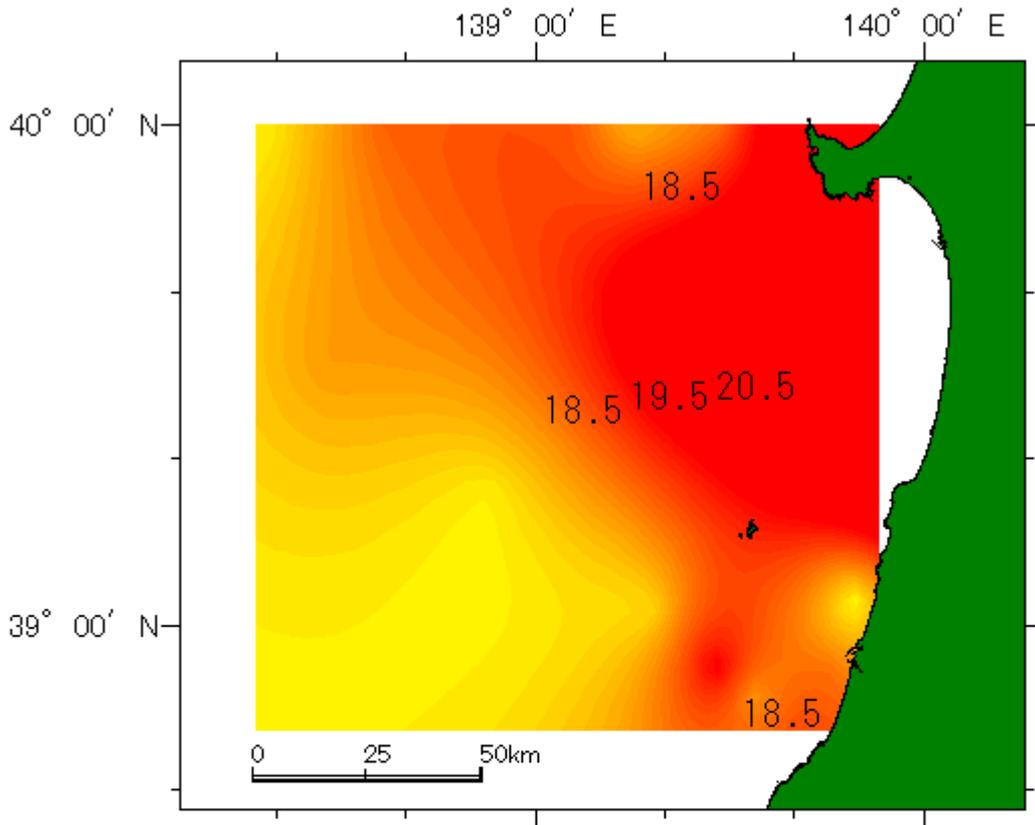


図2 表層の水温分布

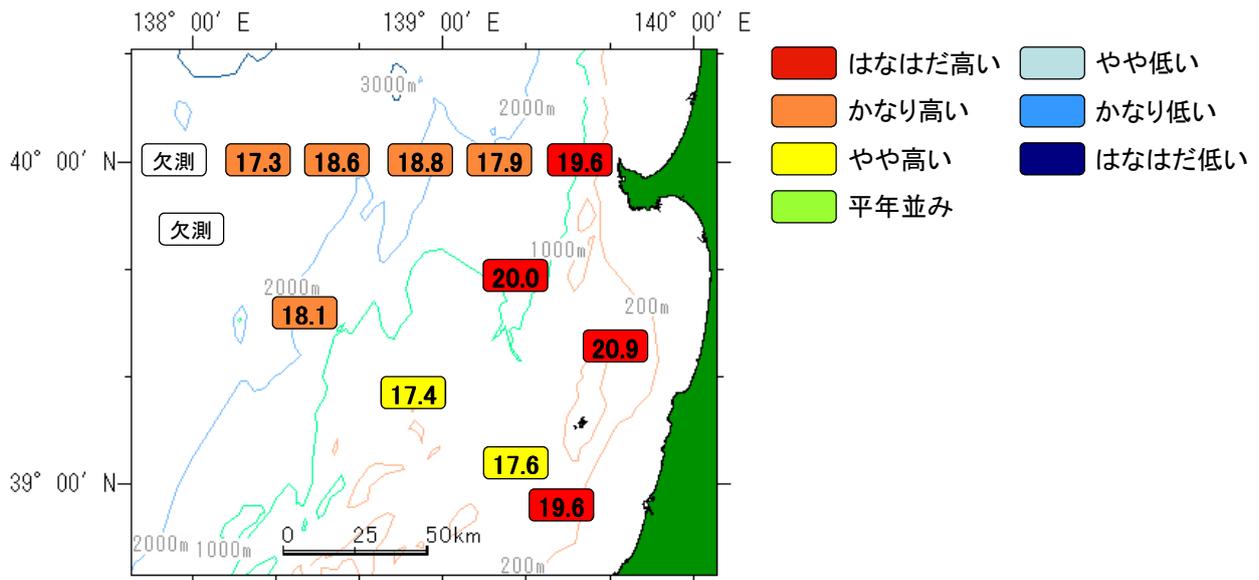


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

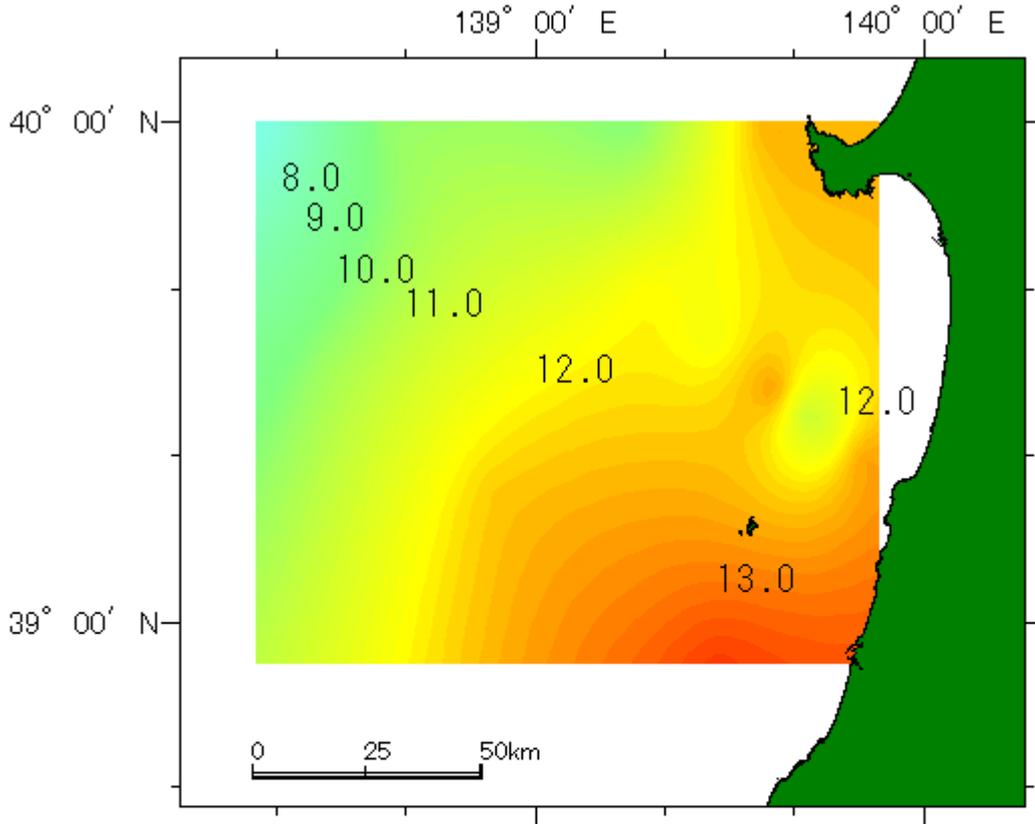


図4 水深50m層の水温分布

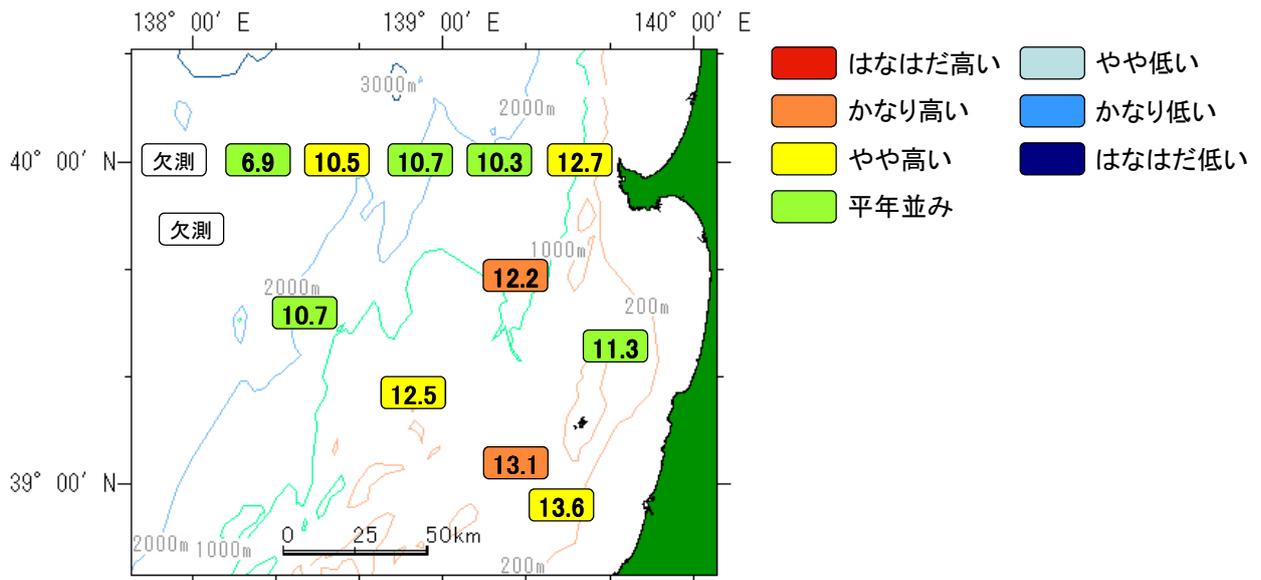


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

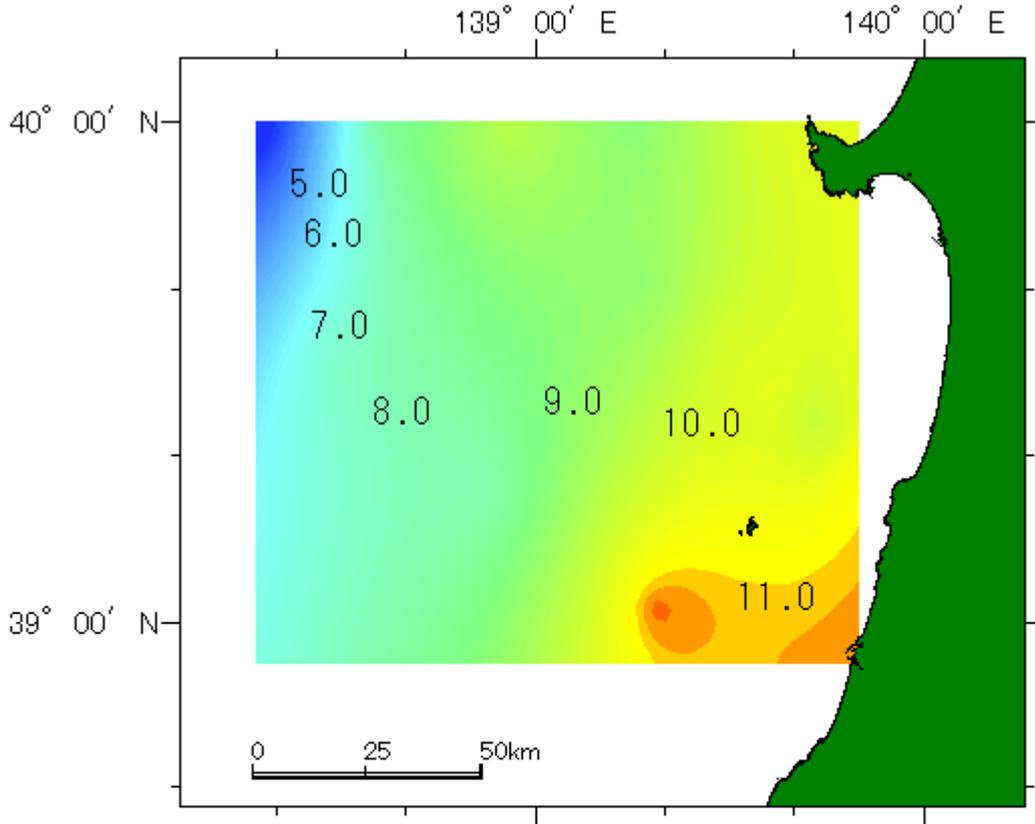


図6 水深100m層の水温分布

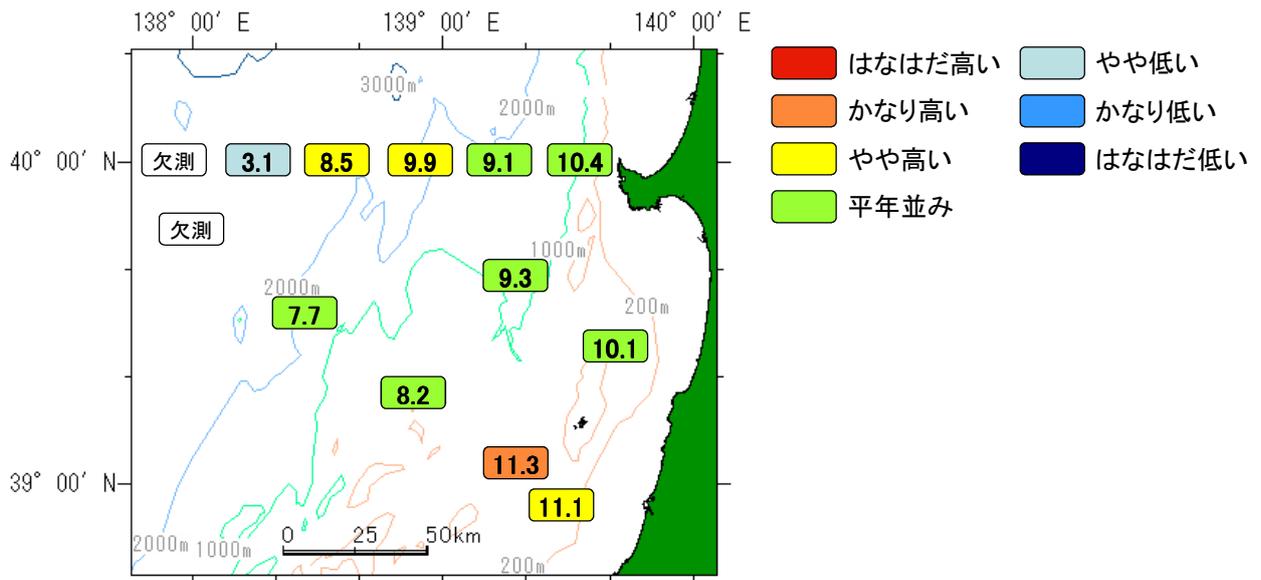


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

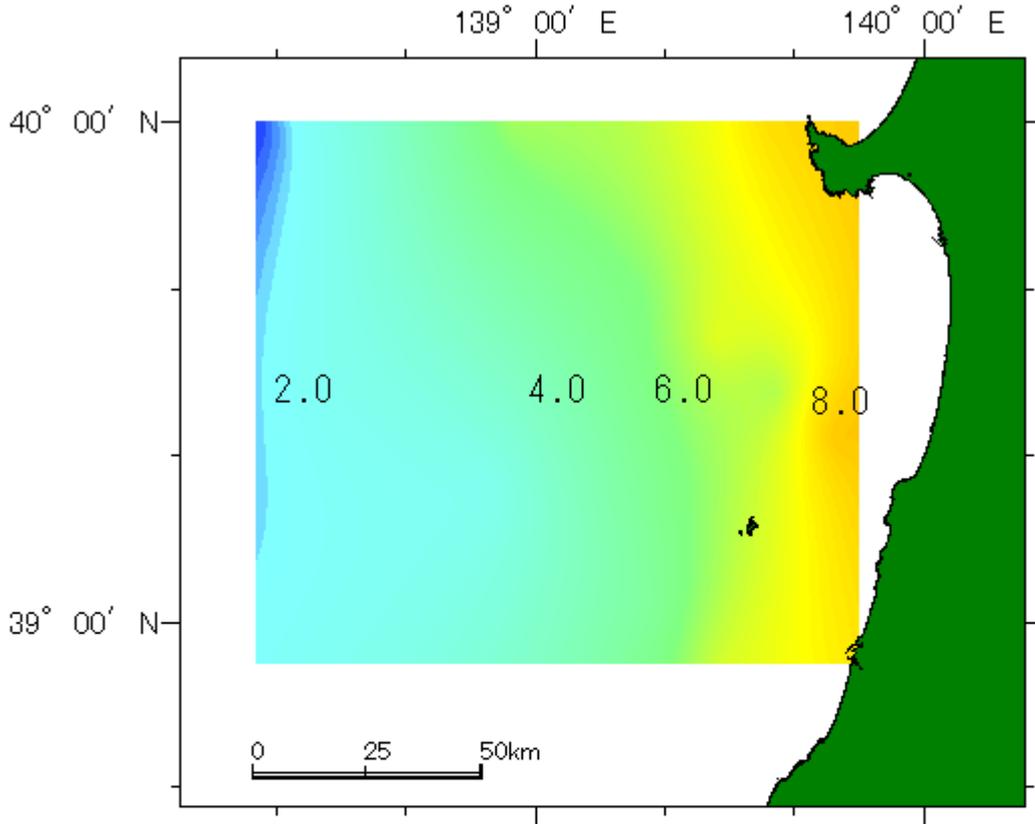


図8 水深200m層の水温分布

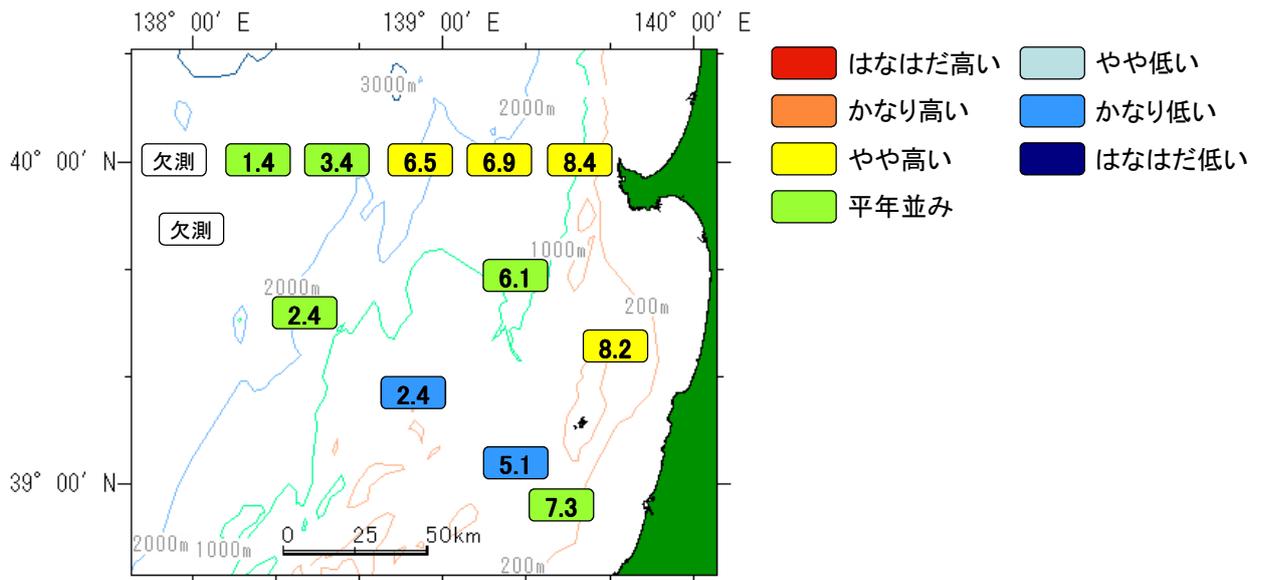


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

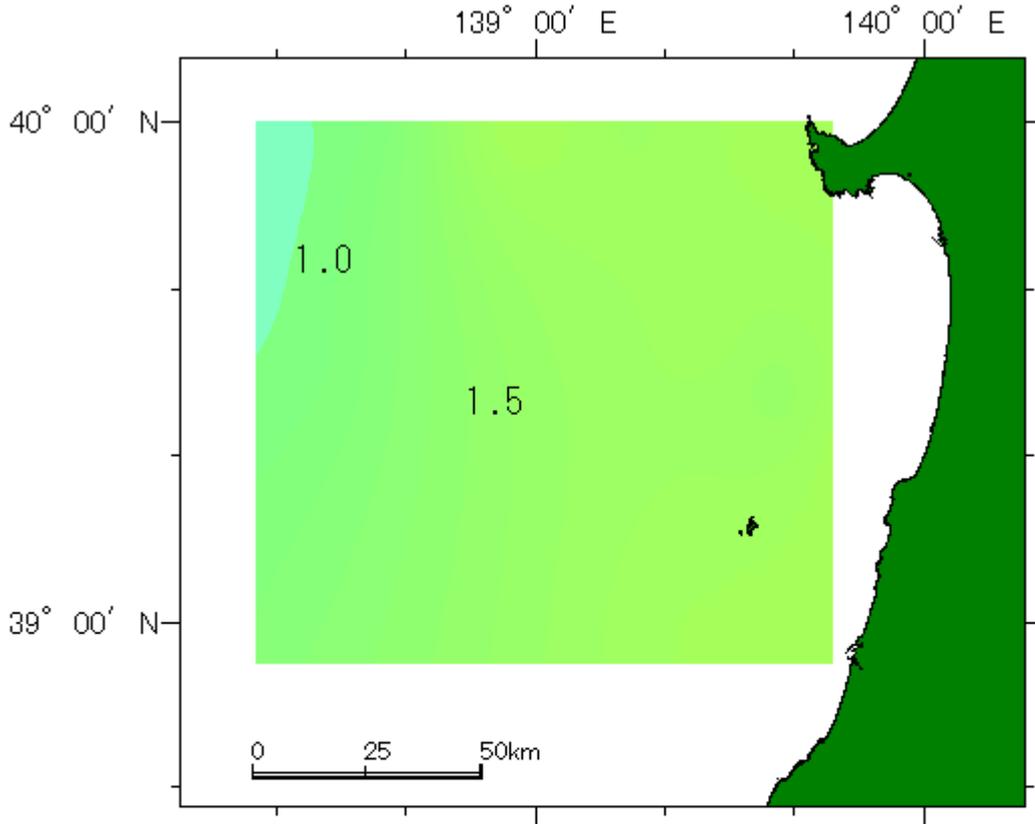


図9 水深300m層の水温分布

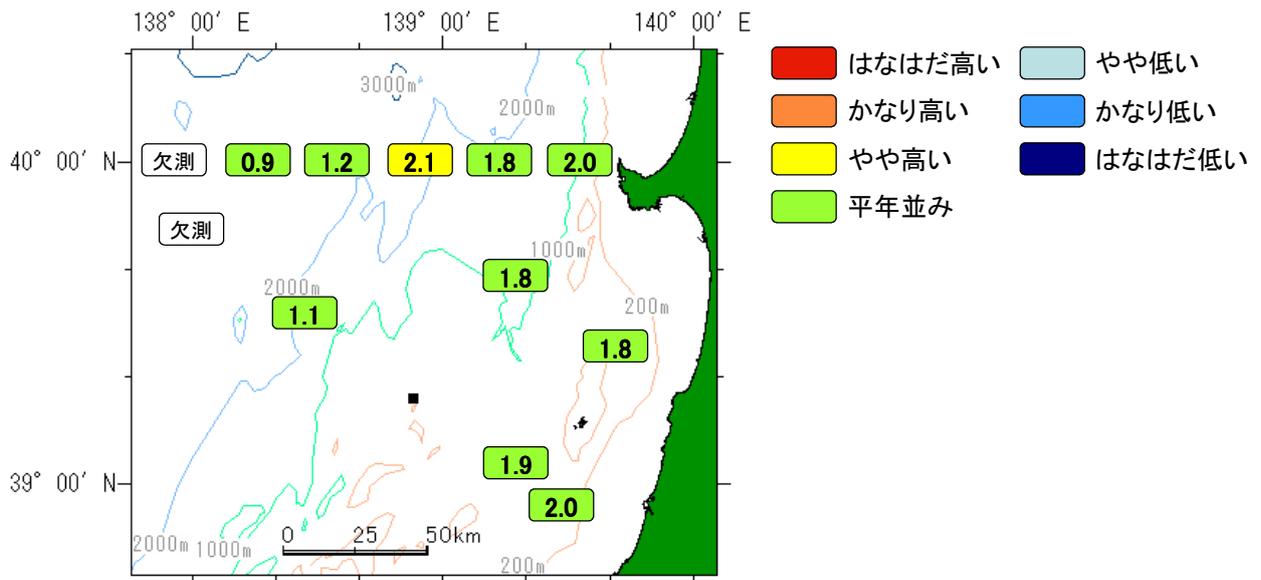


図10 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成26年9月)

漁業調査指導船「千秋丸」により8月27～28日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表 層(2ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」水温です。
 50 m層(3ページ) おおむね「やや低い」～「やや高い」水温です。
 100m層(4ページ) おおむね「やや低い」～「やや高い」水温です。
 200m層(5ページ) おおむね「平年並み」ですが、St.7および8で「やや低い」や、男鹿半島西沖(St.3)で「はなはだ高い」水温です。
 300m層(6ページ) おおむね「平年並み」です。

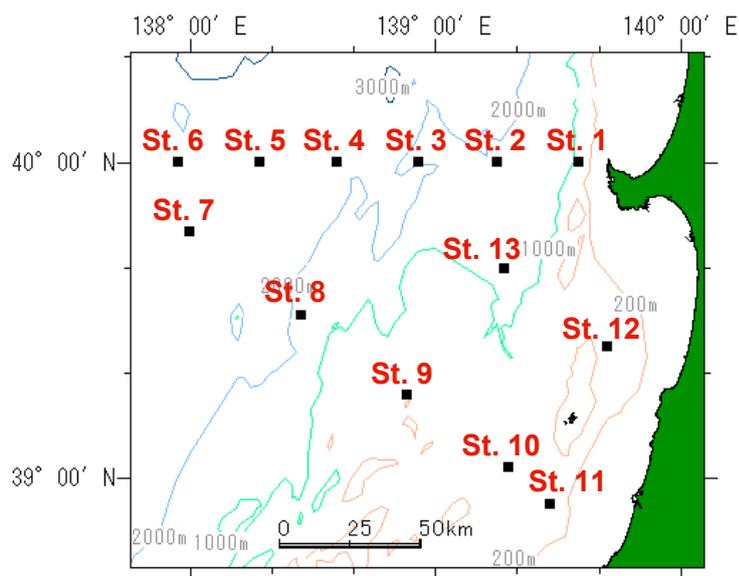


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
 平年値:1971～2000年までの平均値

< 表層 >

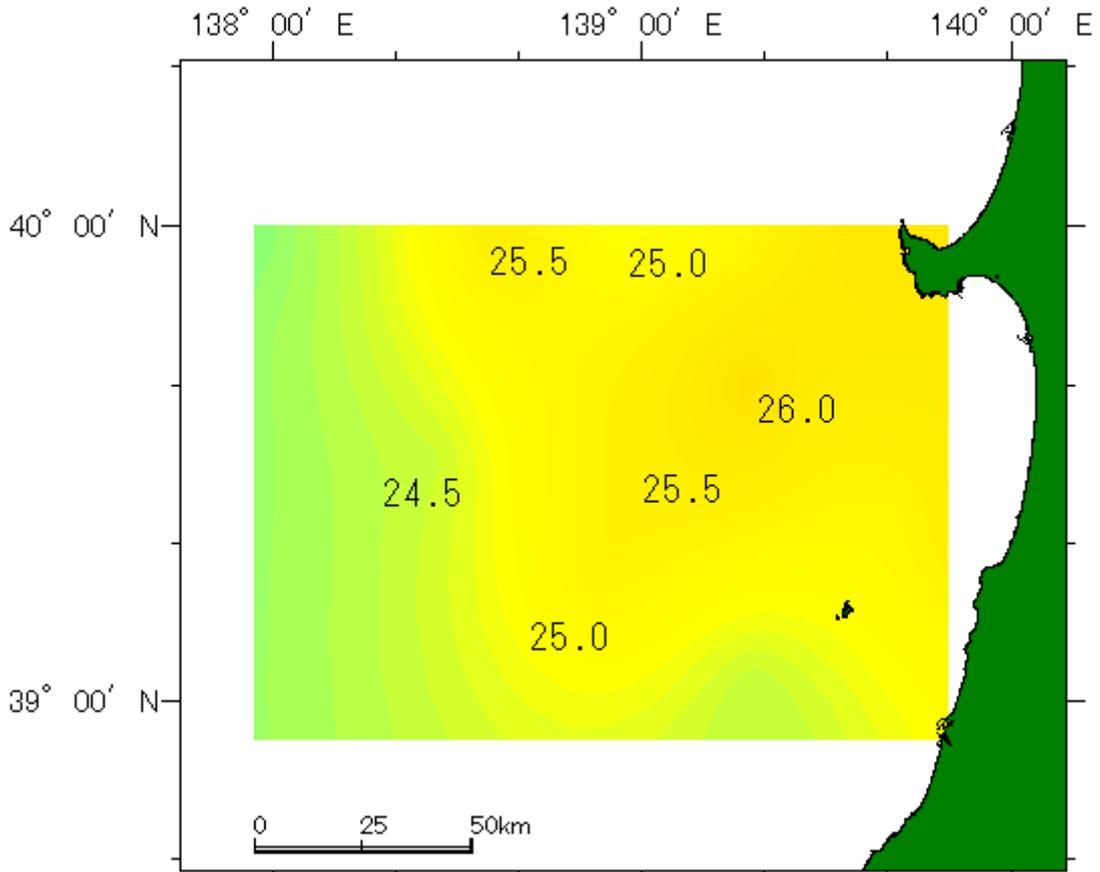


図2 表層の水温分布

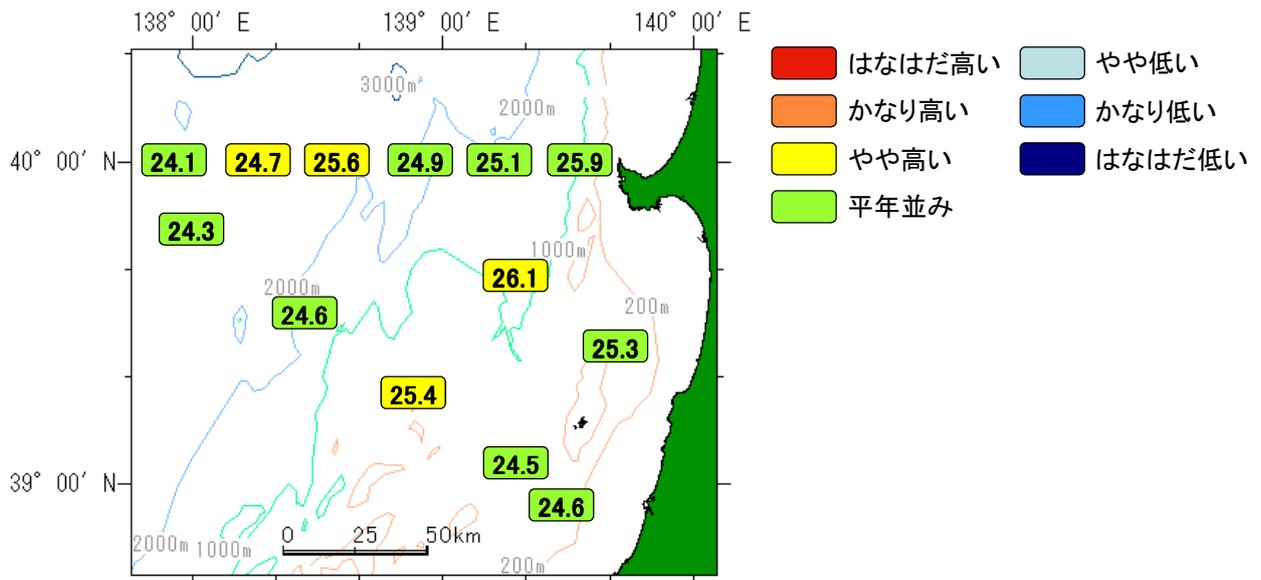


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

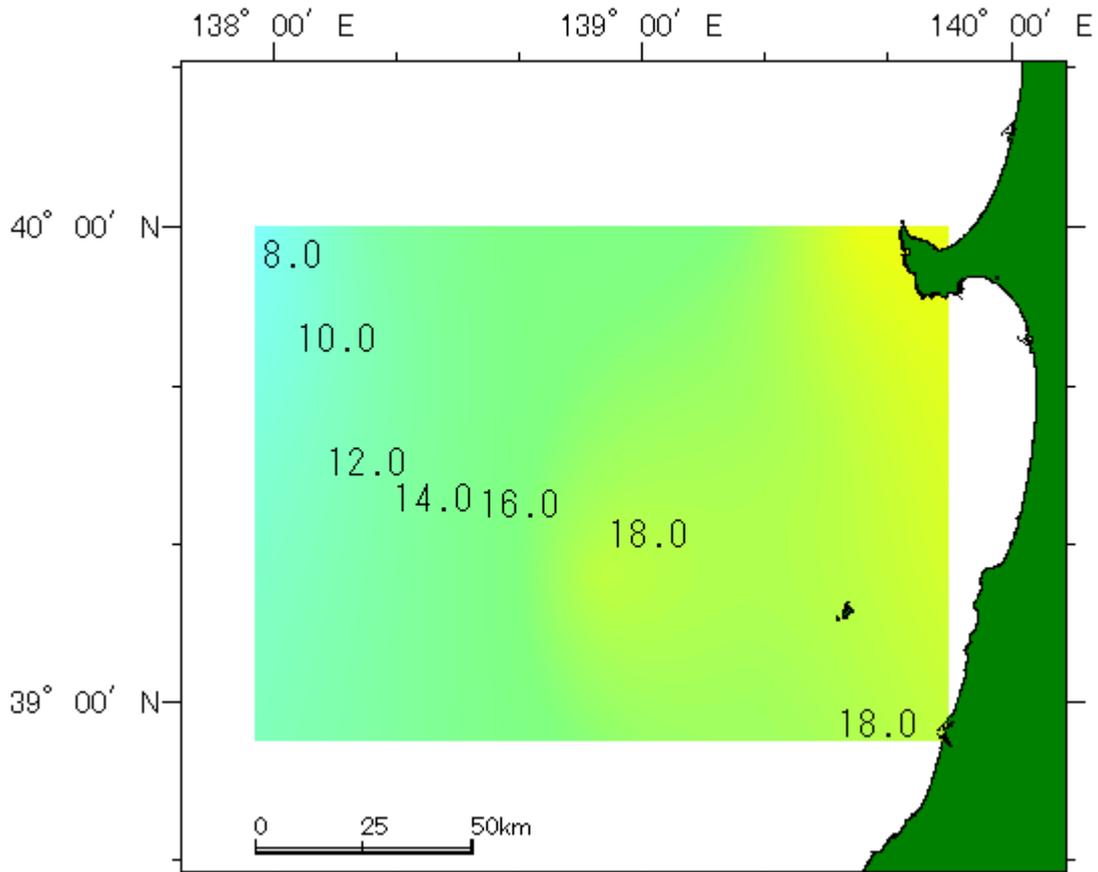


図4 水深50m層の水温分布

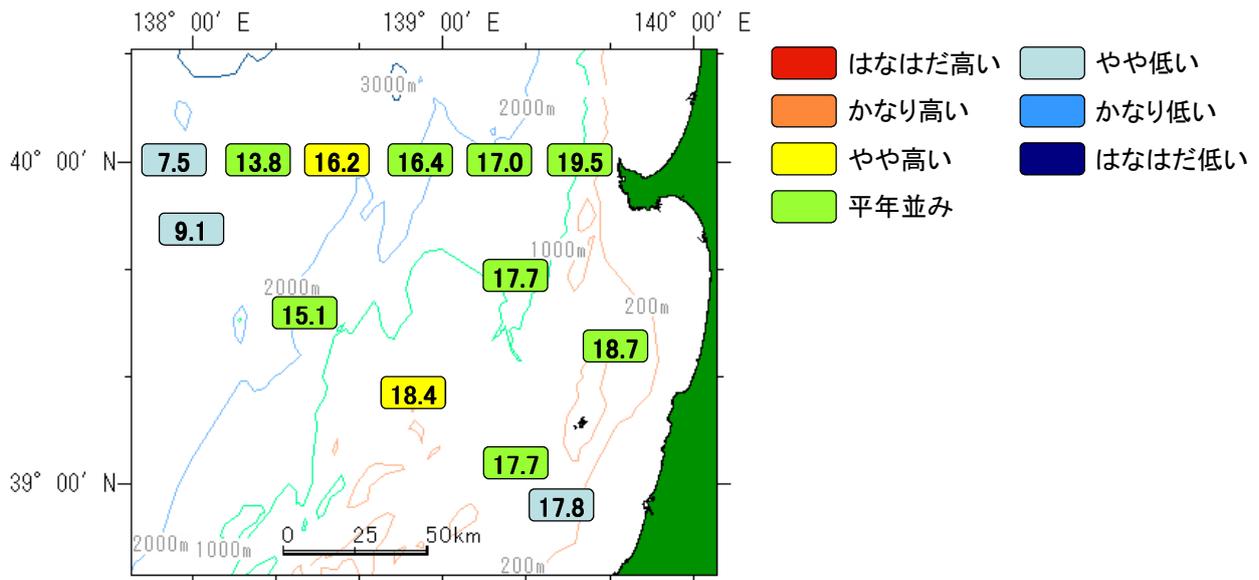


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

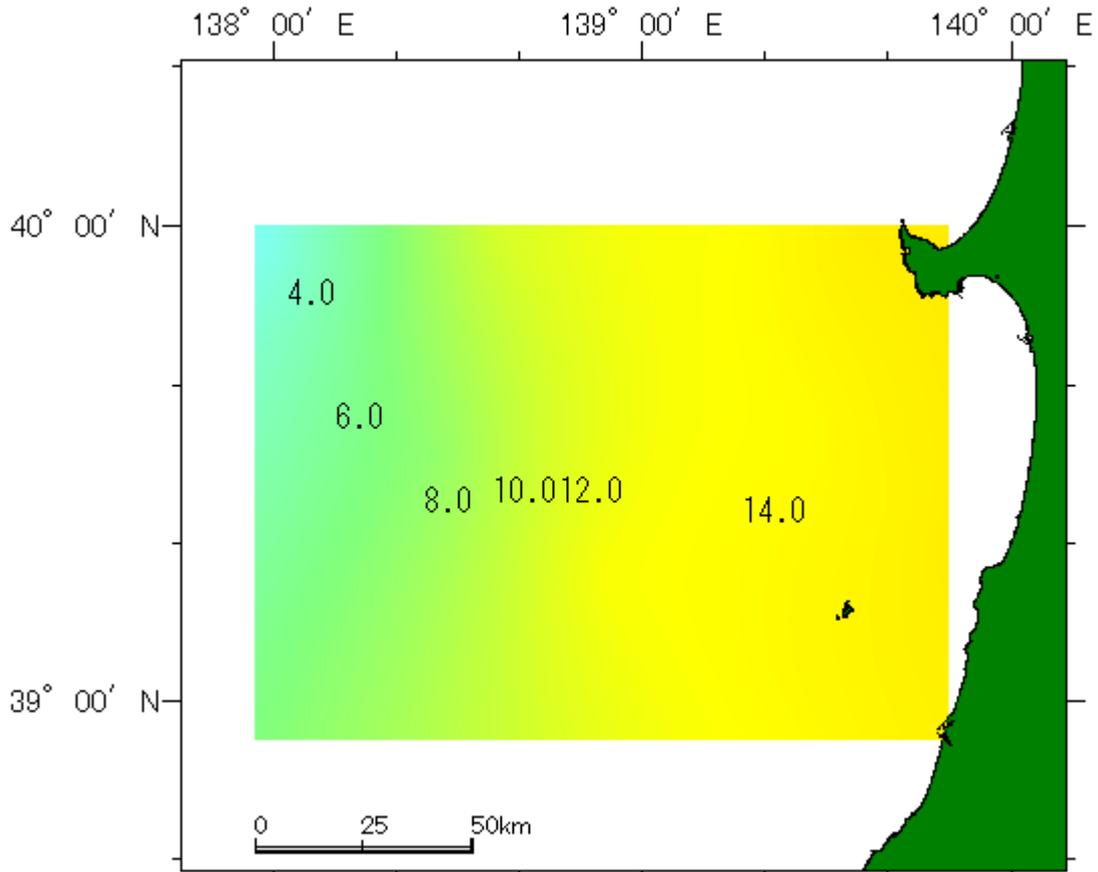


図6 水深100m層の水温分布

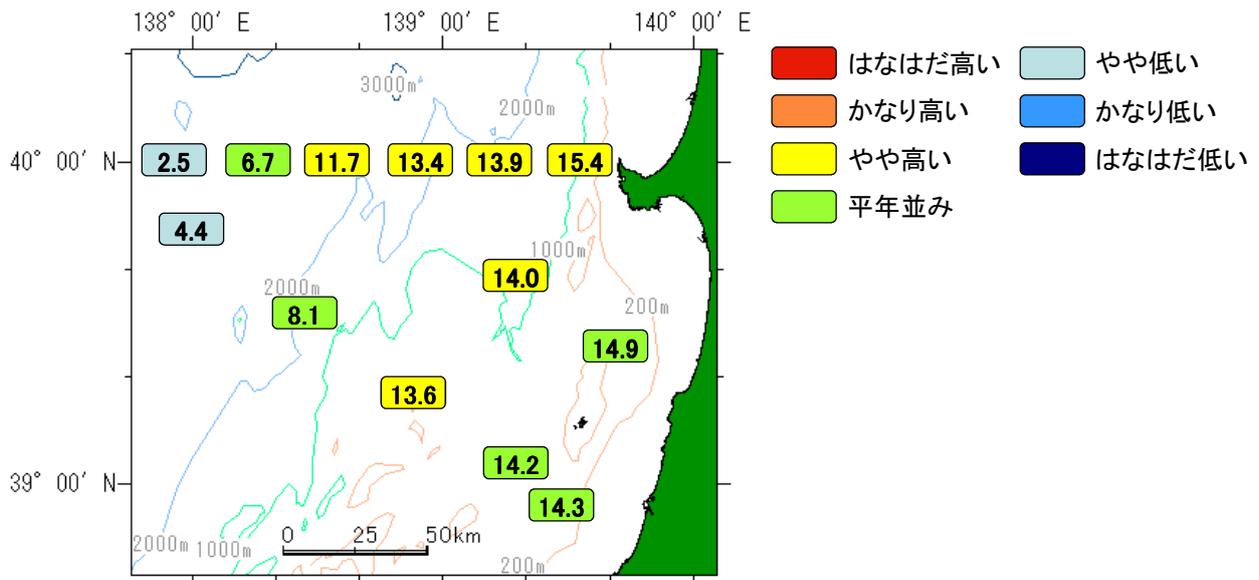


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

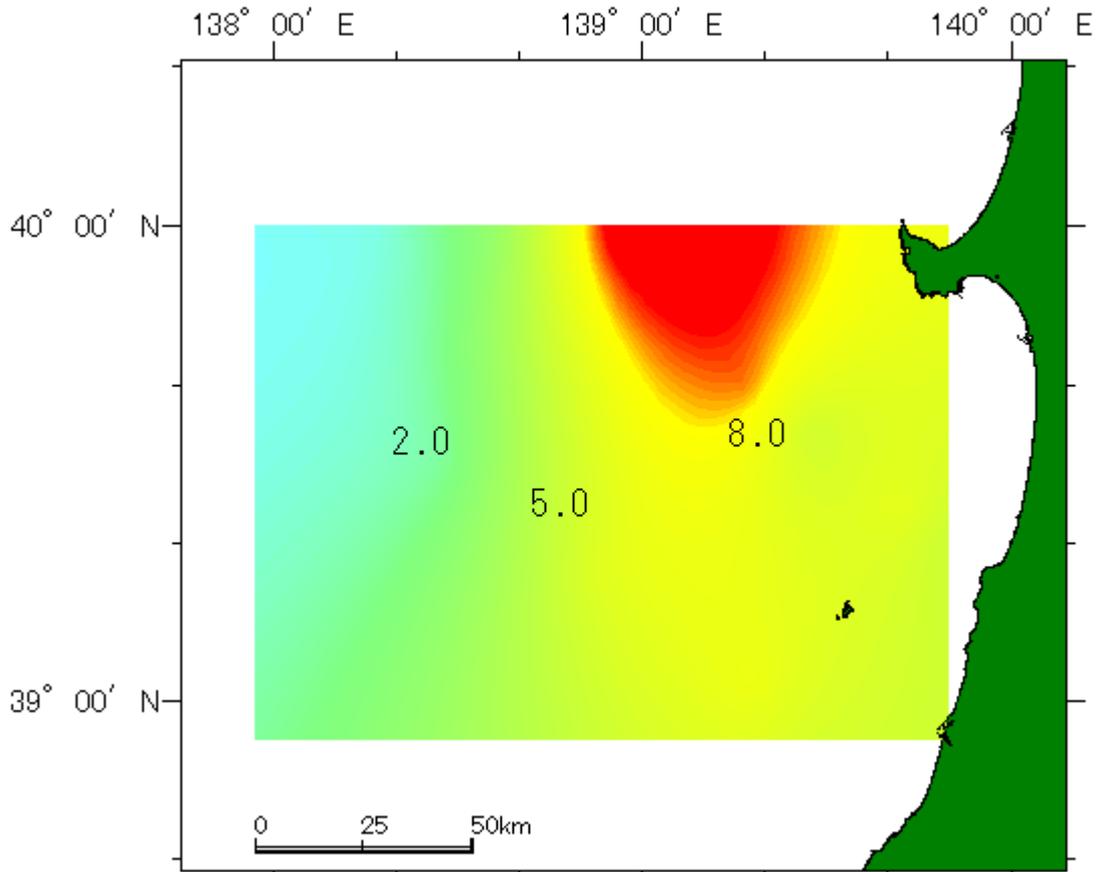


図8 水深200m層の水温分布

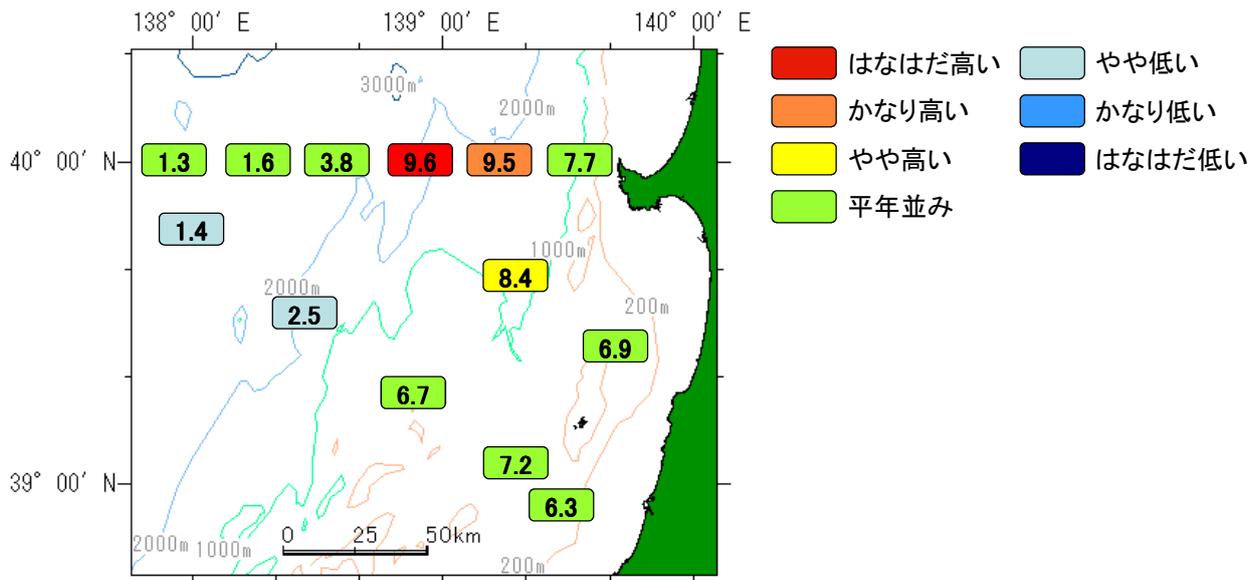


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

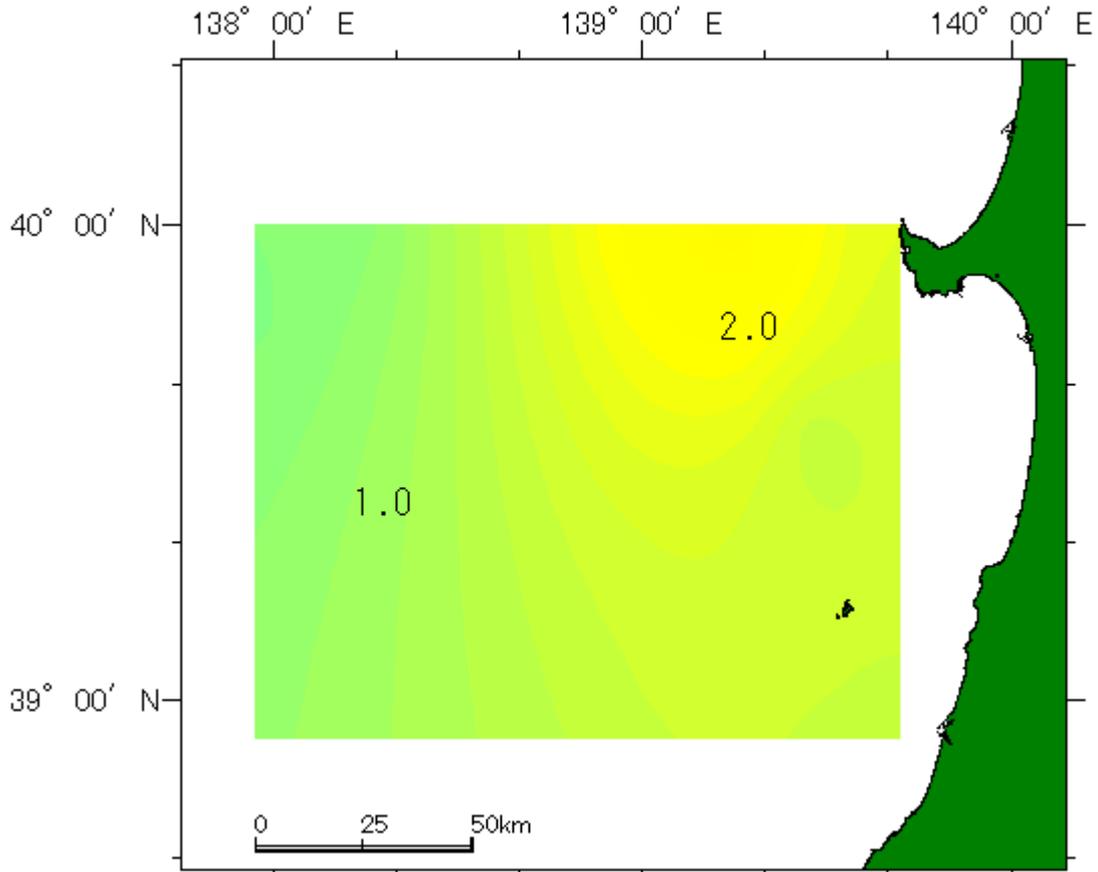


図9 水深300m層の水温分布

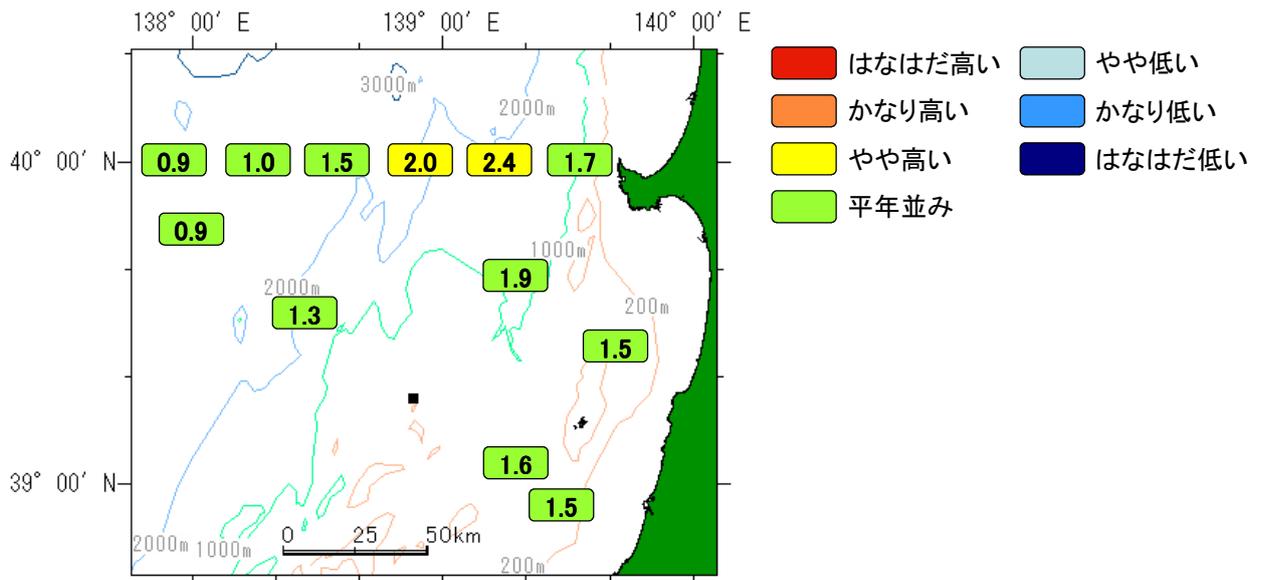


図10 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成26年10月)

漁業調査指導船「千秋丸」により10月1～2日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表 層(2ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」水温です。
- 50 m層(3ページ) おおむね「平年並み」ですが、St.8で「かなり低い」水温です。
- 100m層(4ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」ですが、50m層と同様St.8で「かなり低い」水温です。
- 200m層(5ページ) おおむね「やや低い」～平年並み」ですが、St.6で「かなり高い」水温や、St.8で「かなり低い」水温です。
- 300m層(6ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」水温です。

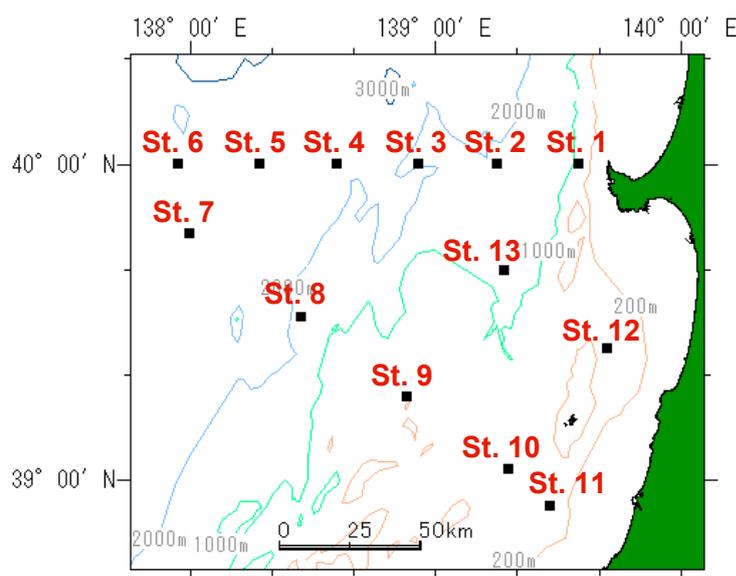


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+ 61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	± 60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	- 61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)÷標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

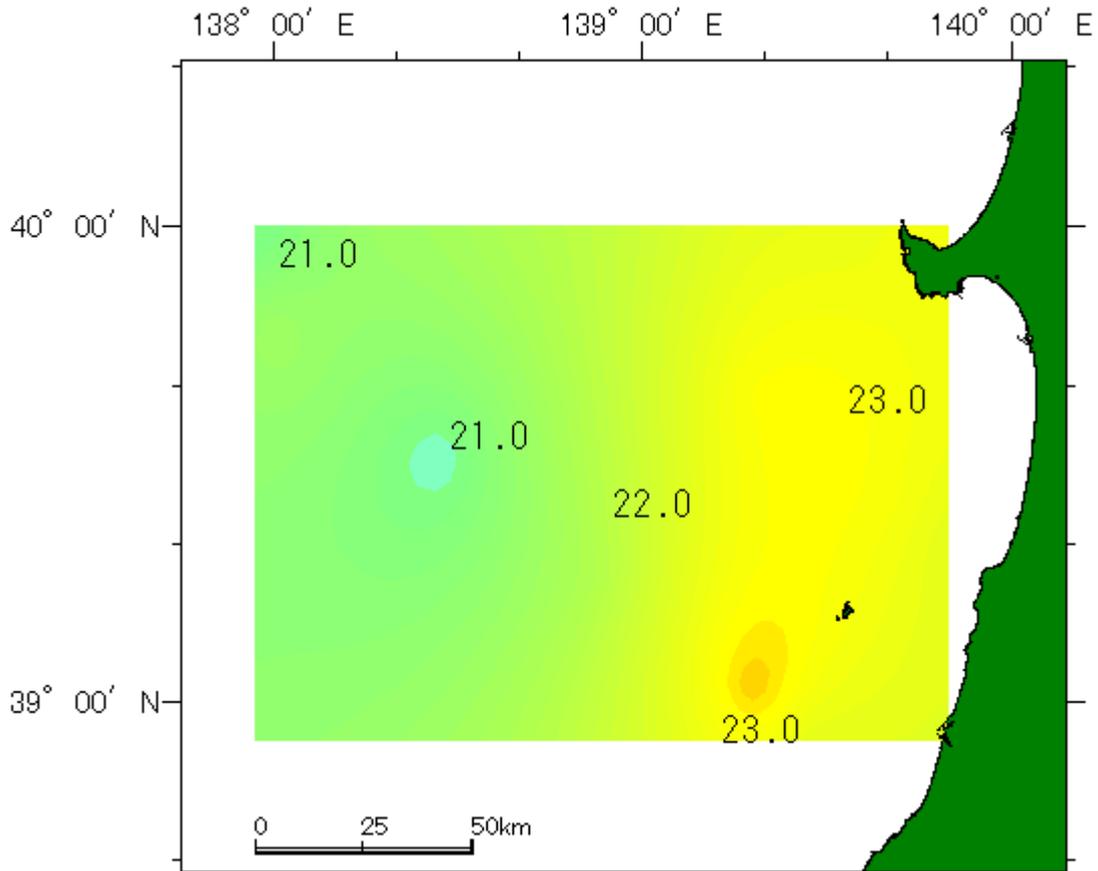


図2 表層の水温分布

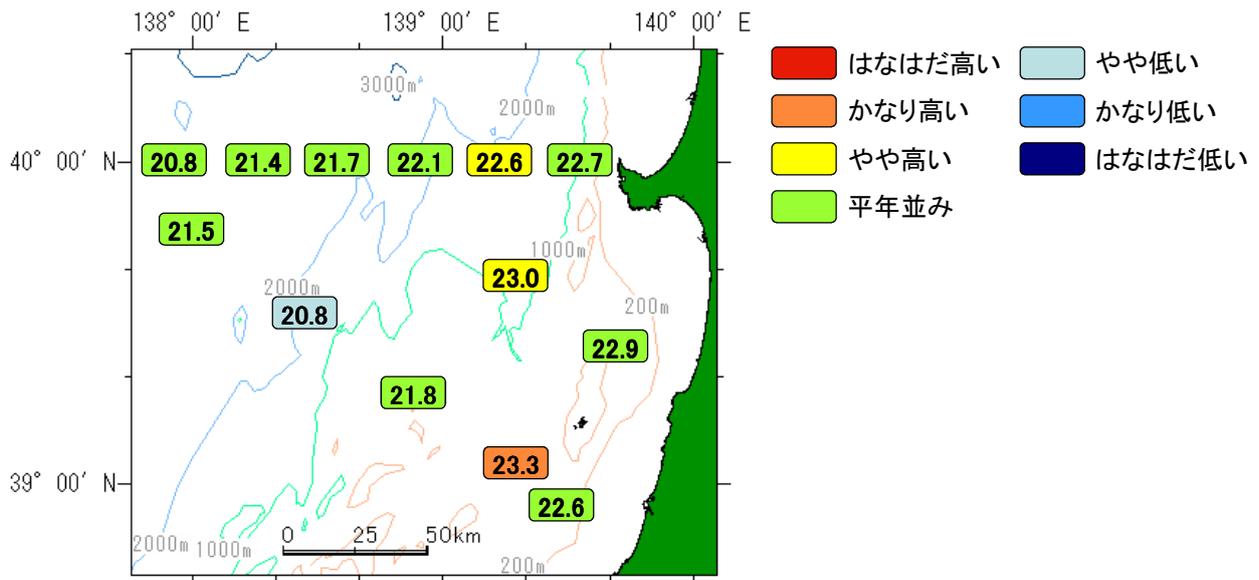


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

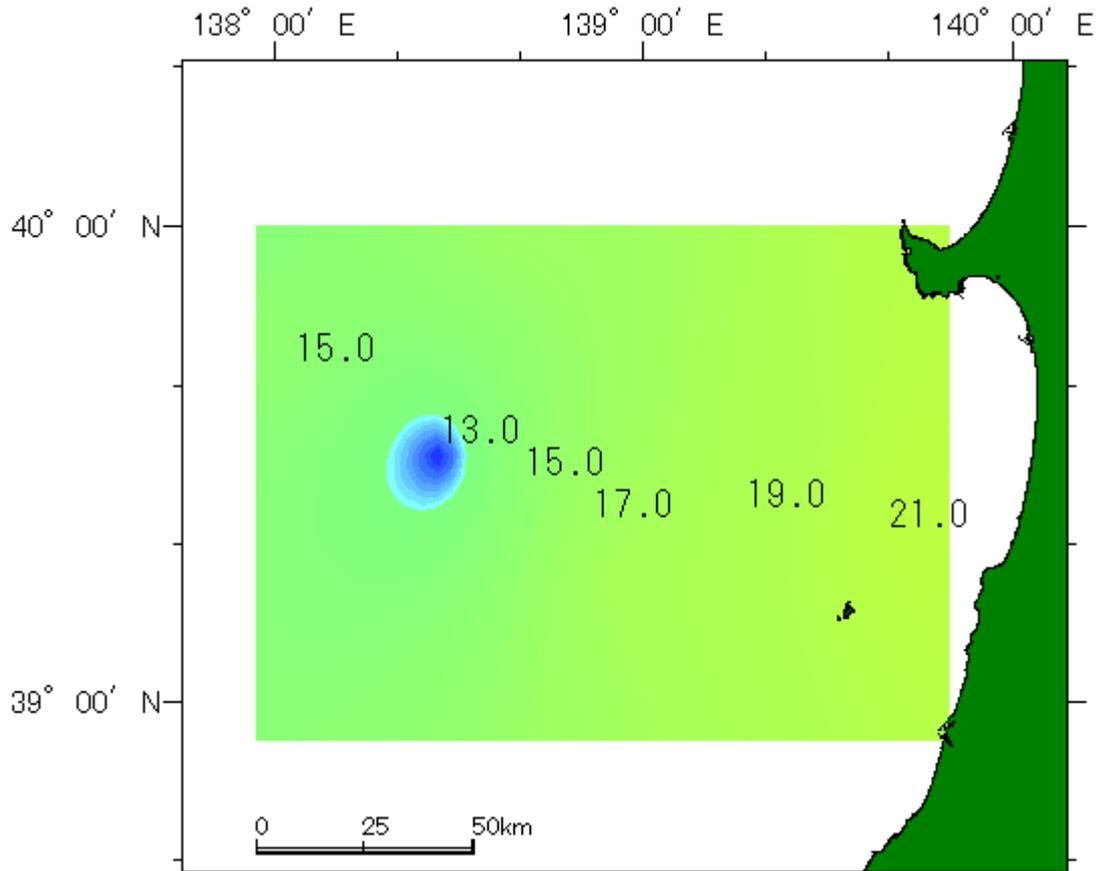


図4 水深50m層の水温分布

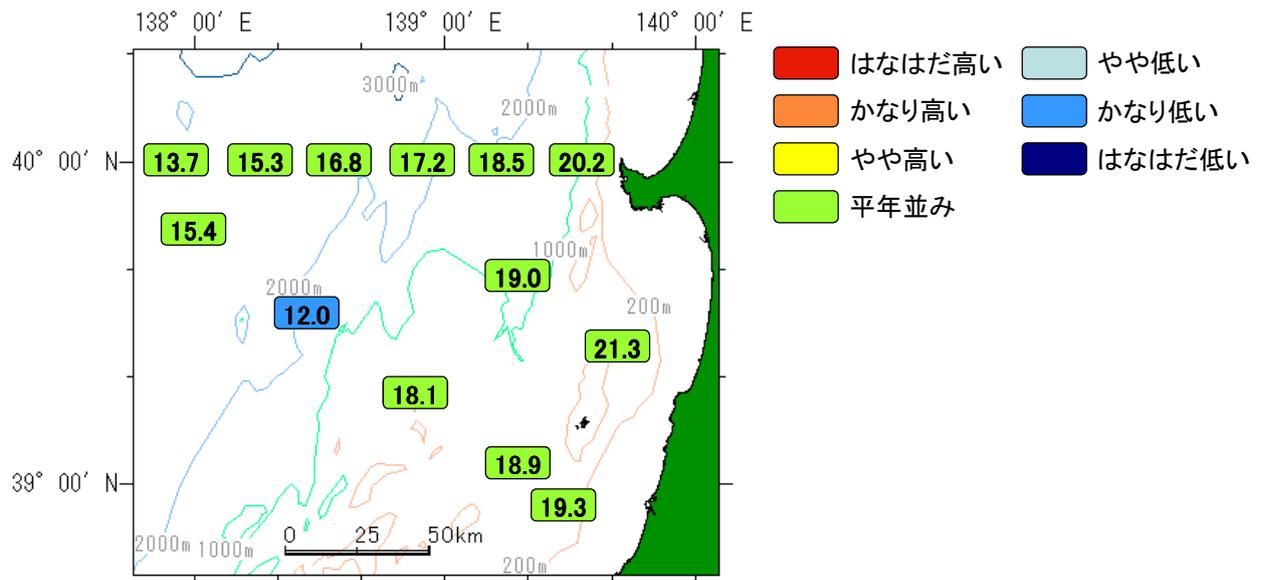


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

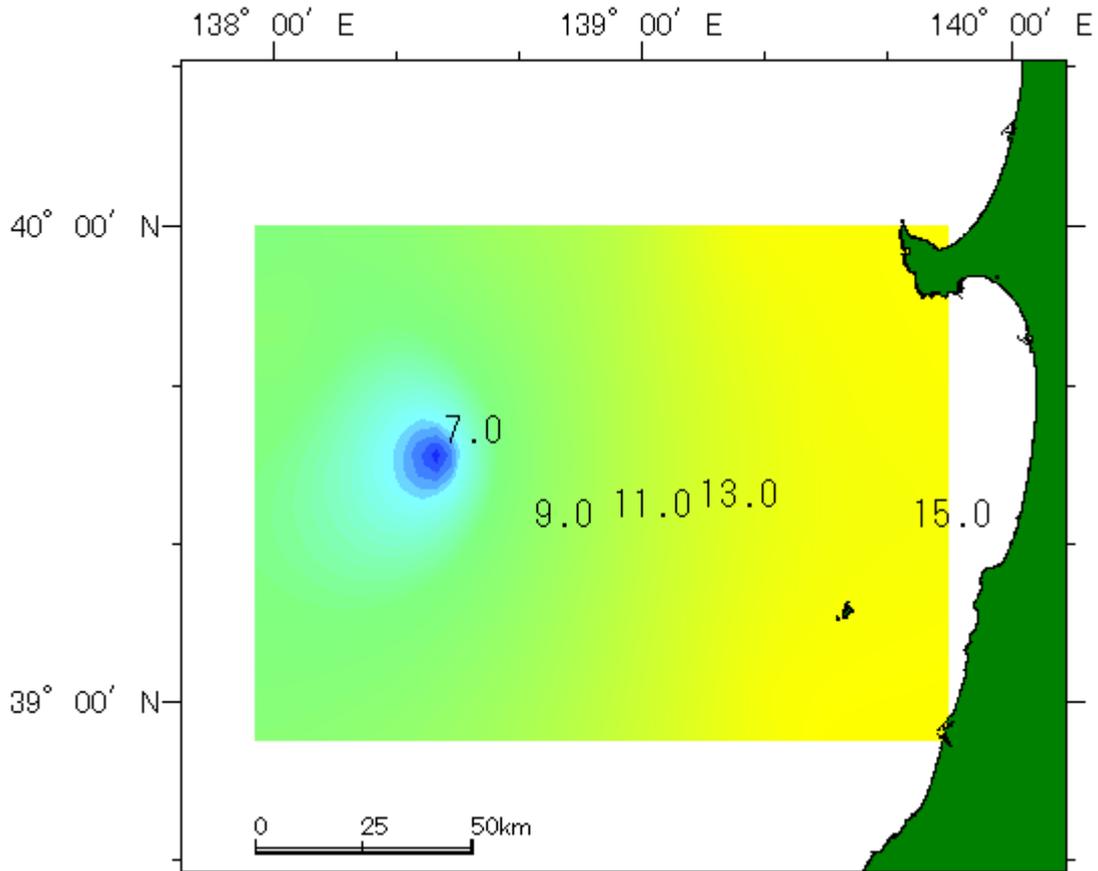


図6 水深100m層の水温分布

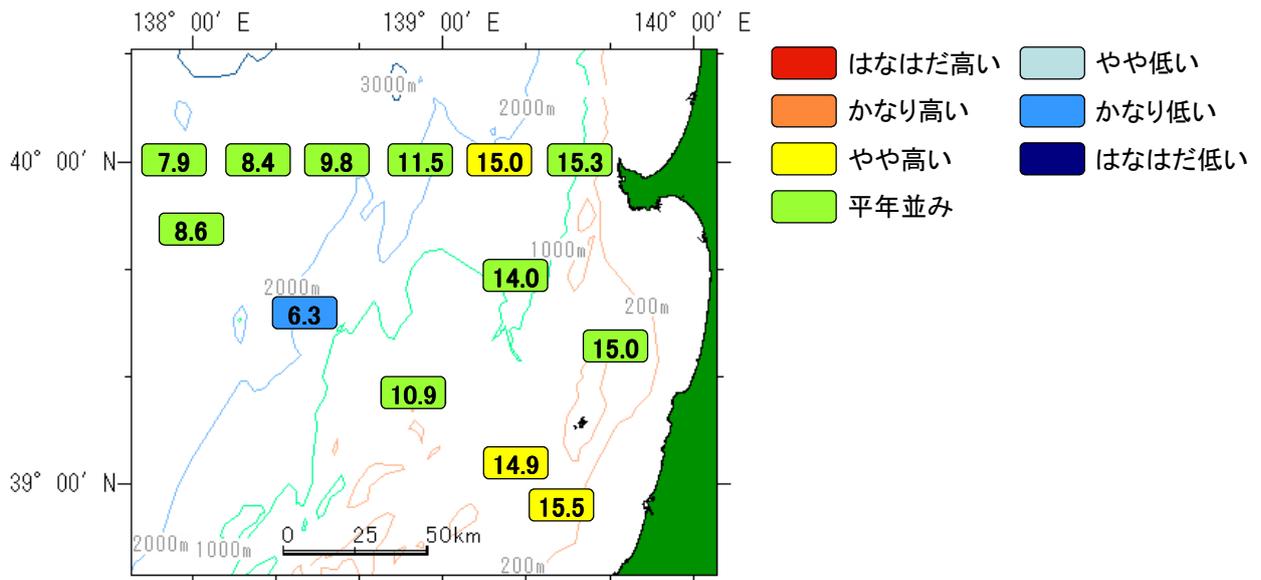


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

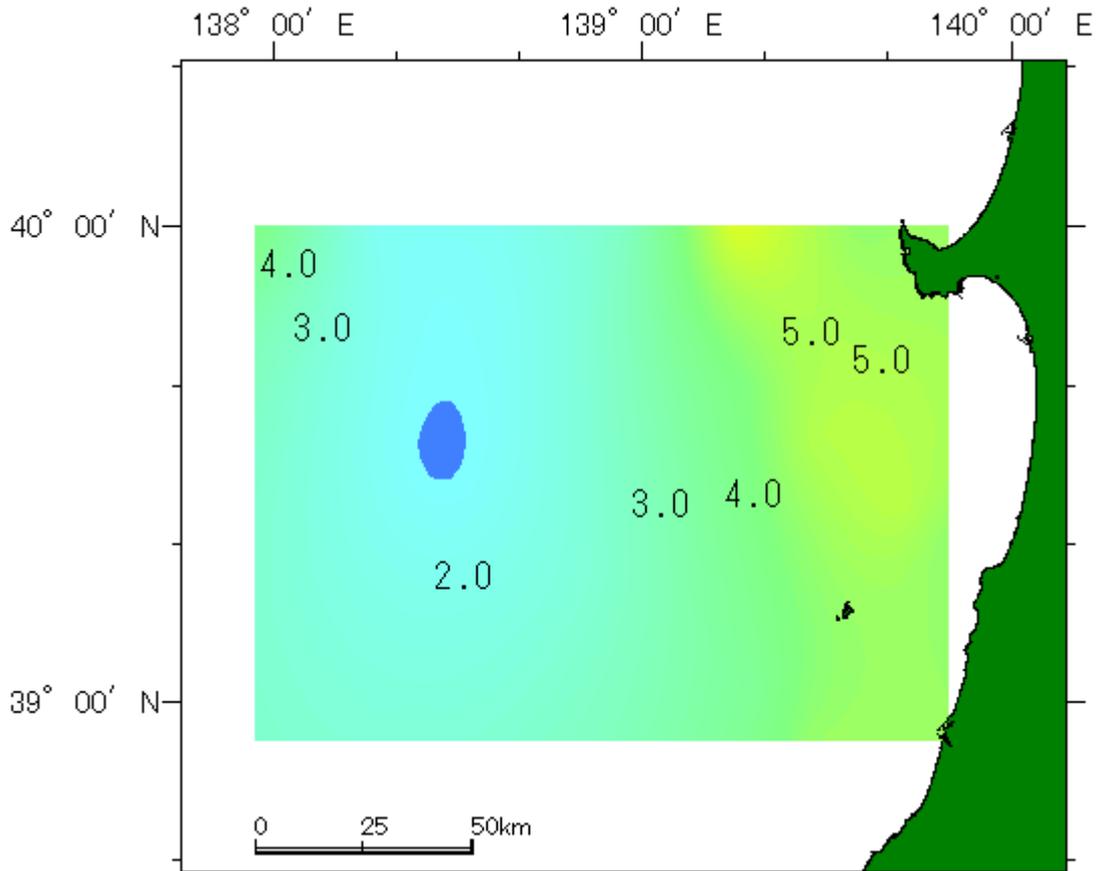


図8 水深200m層の水温分布

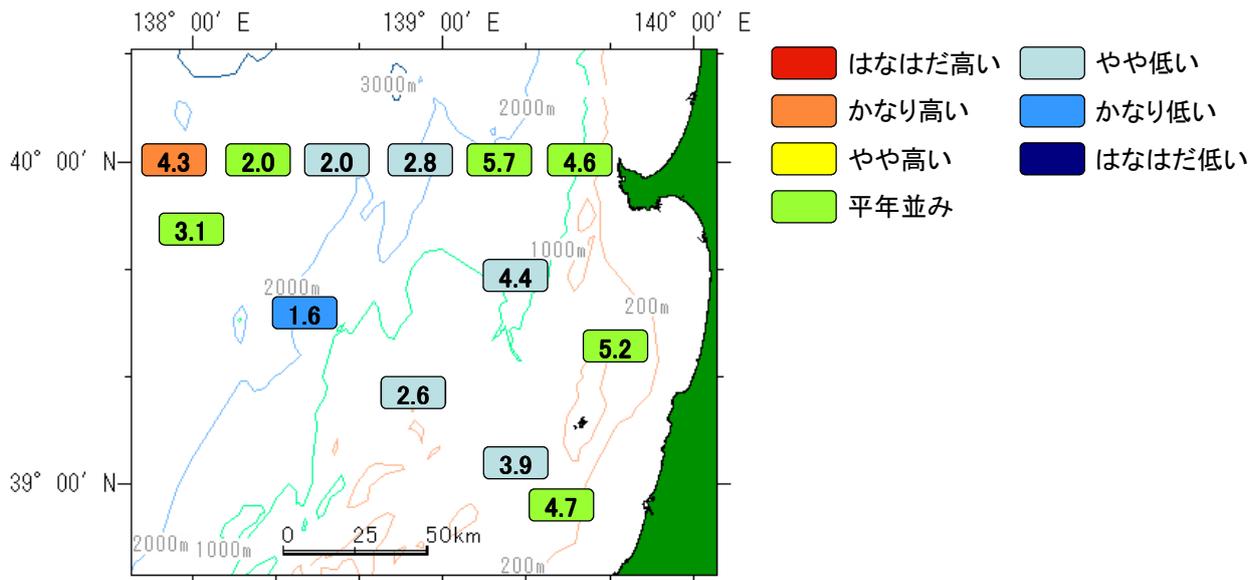


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

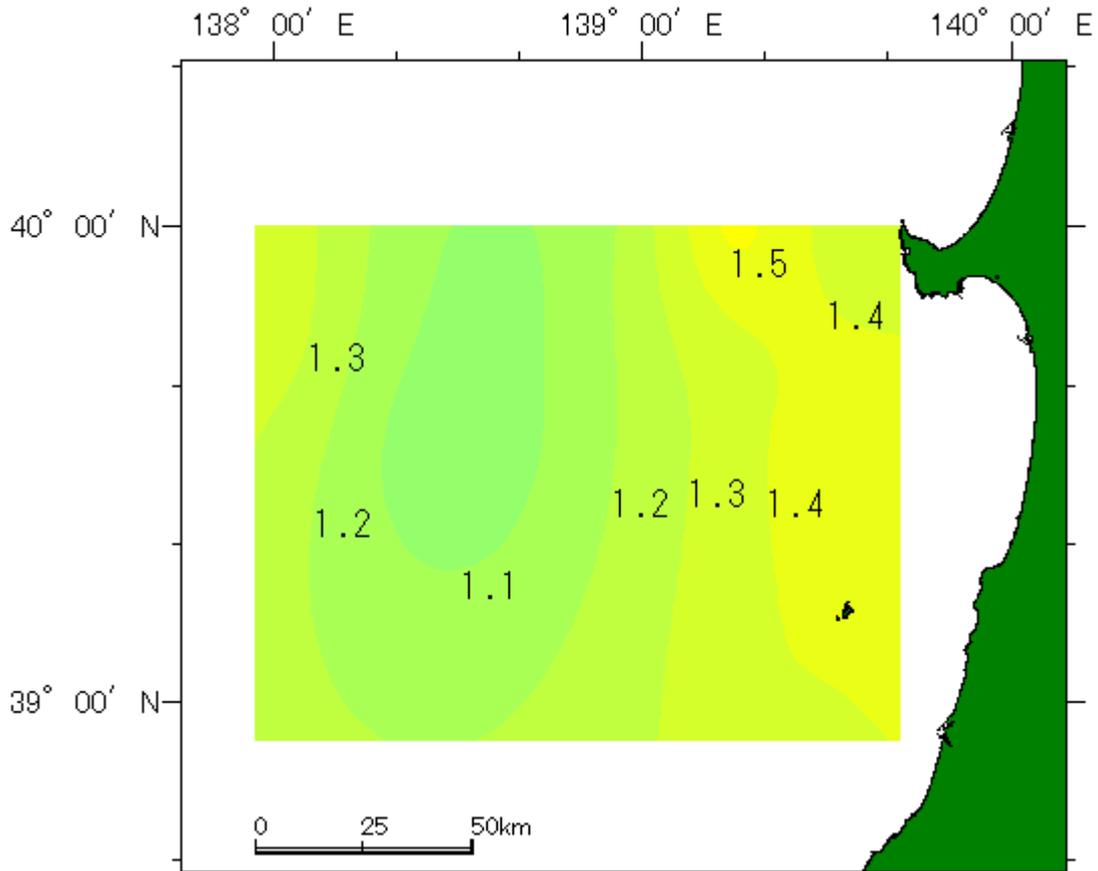


図9 水深300m層の水温分布

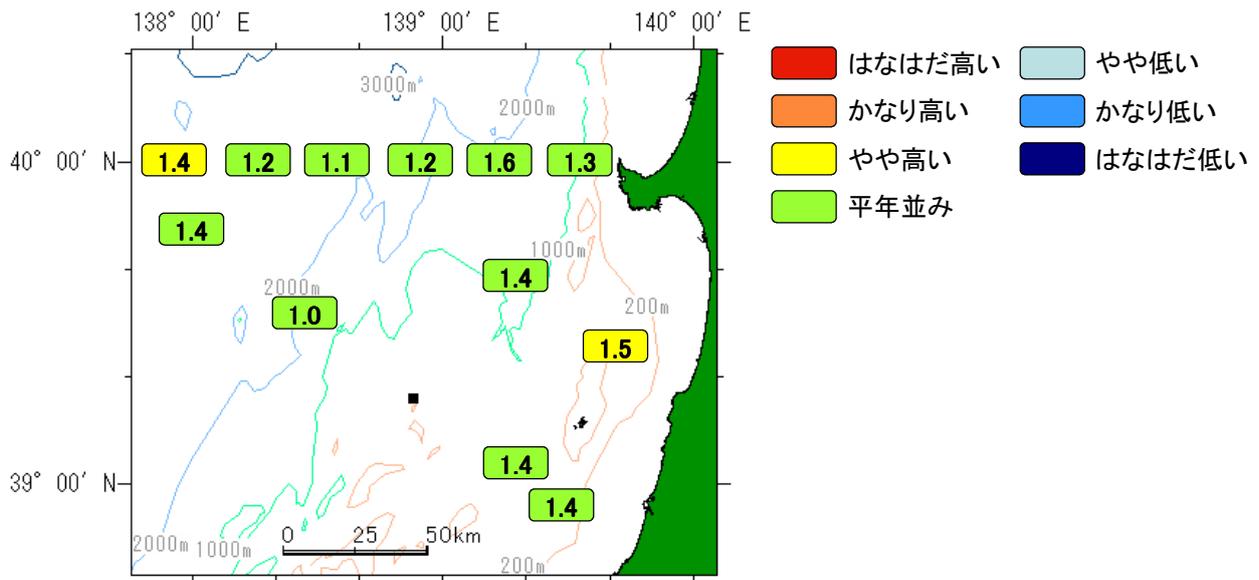


図10 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成26年11月)

漁業調査指導船「千秋丸」により10月30～31日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」水温です。
- 50m層(3ページ) おおむね「やや低い」～「やや高い」水温です。
- 100m層(4ページ) おおむね「かなり低い」～「やや高い」水温です。
- 200m層(5ページ) おおむね「かなり低い」～「平年並み」水温です。
- 300m層(6ページ) 「平年並み」の水温です。

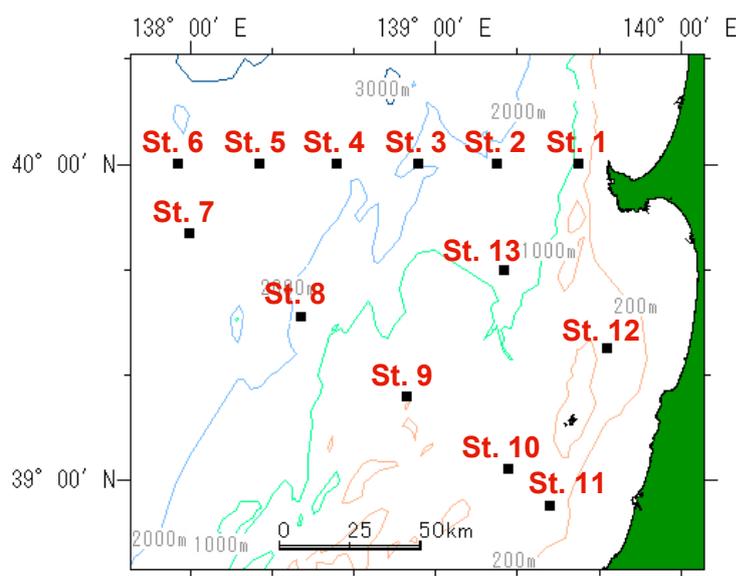


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

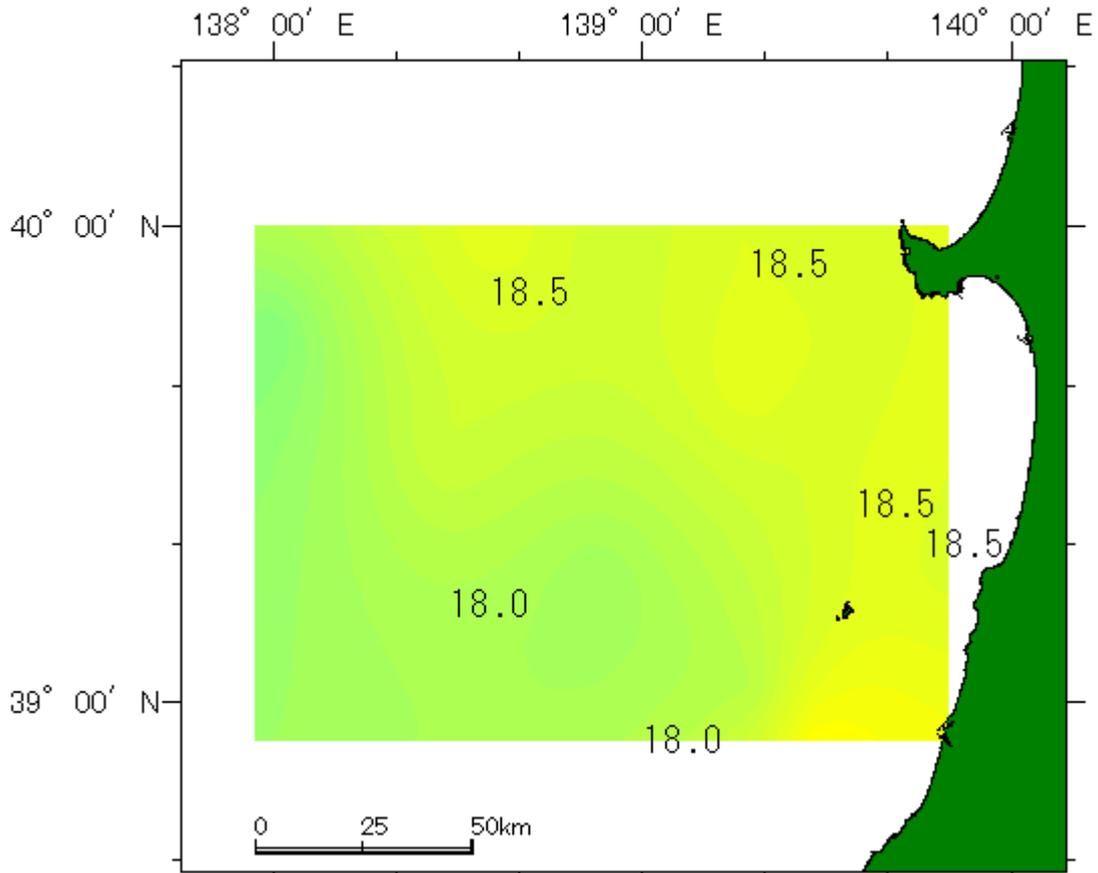


図2 表層の水温分布

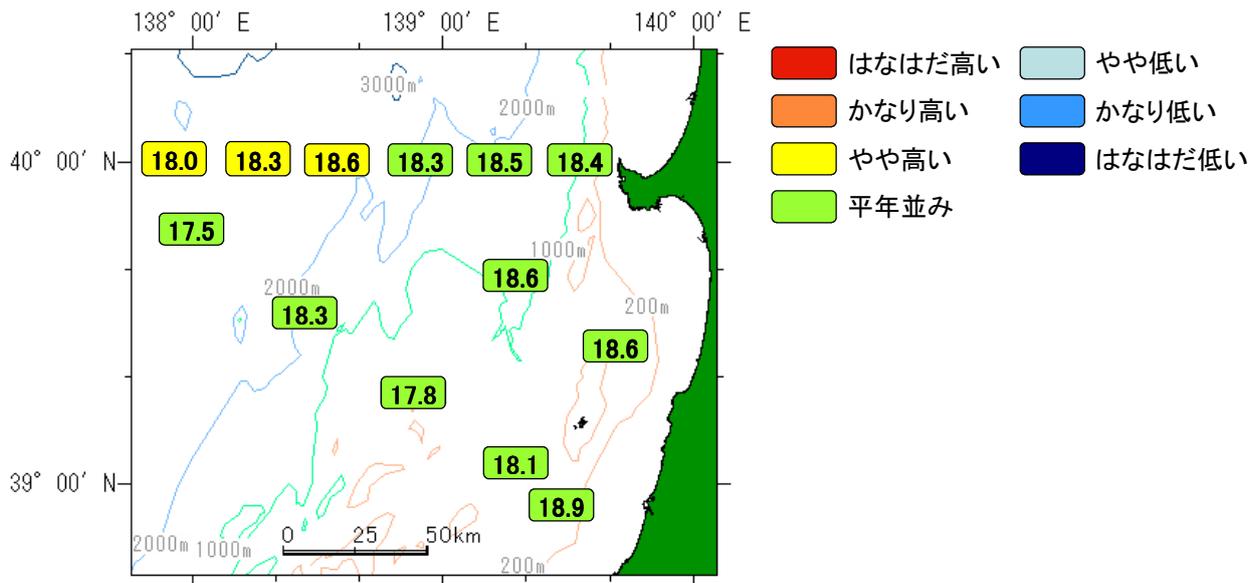


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

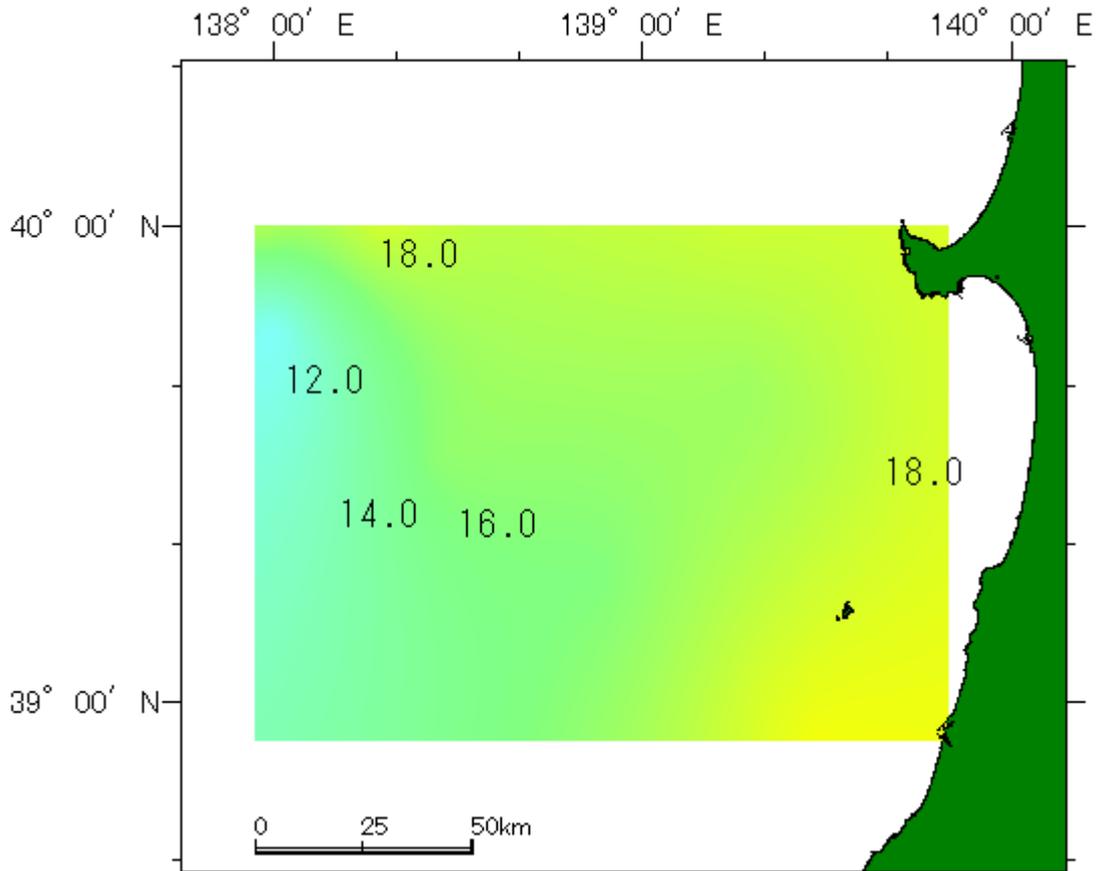


図4 水深50m層の水温分布

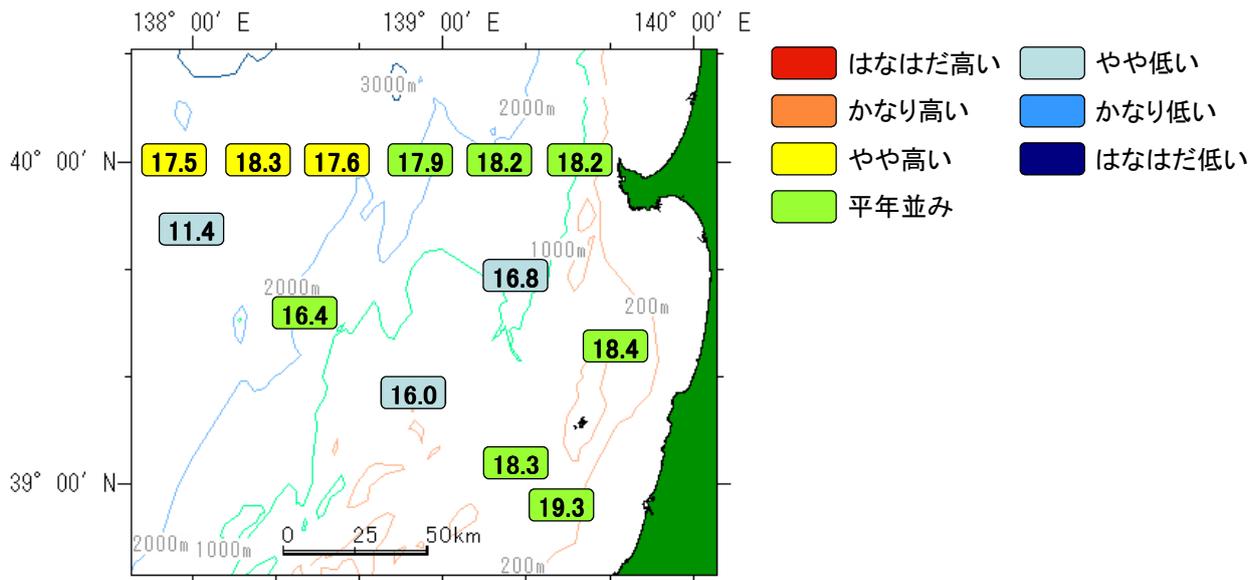


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

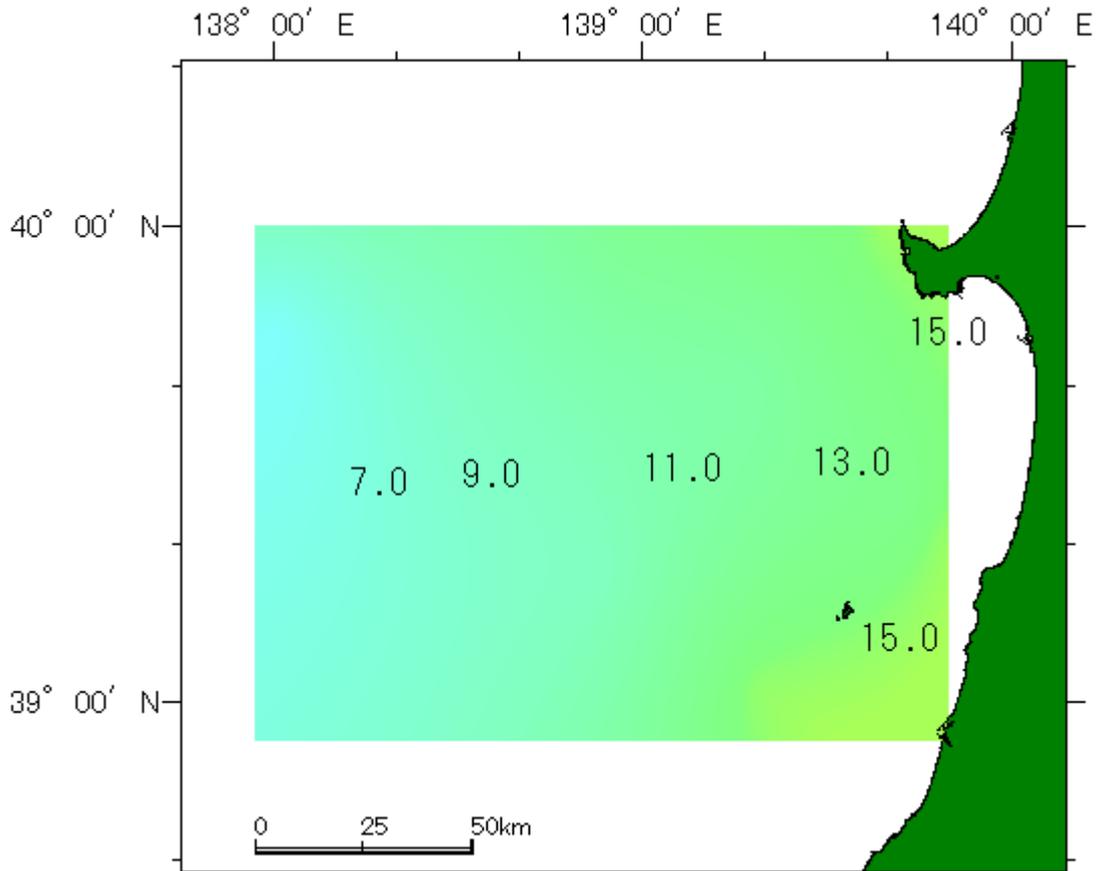


図6 水深100m層の水温分布

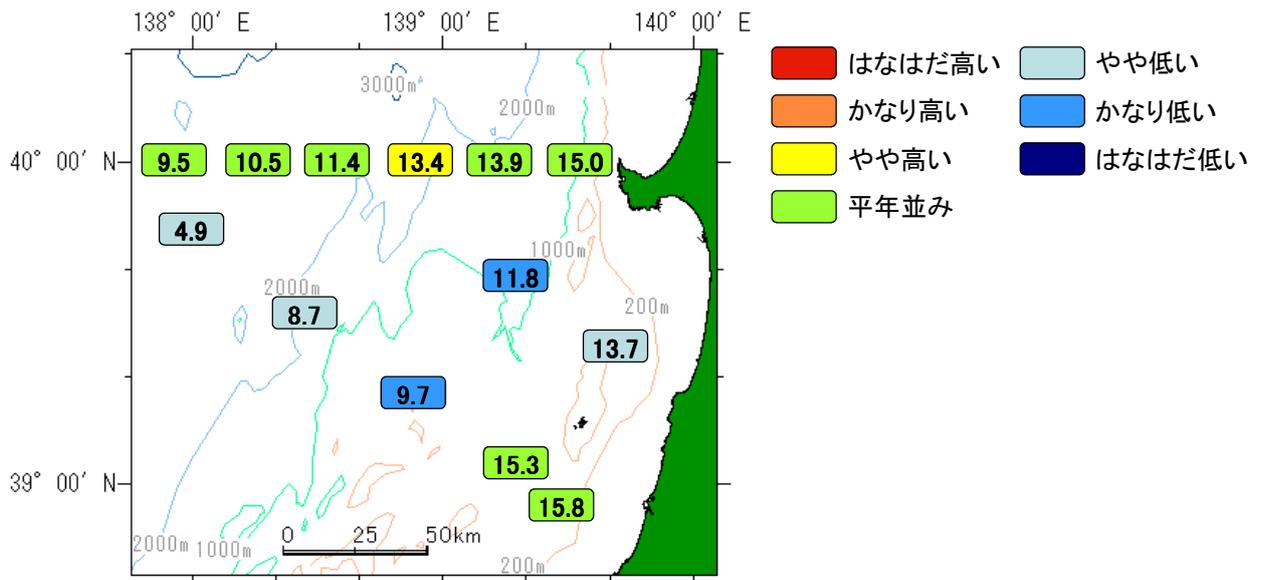


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

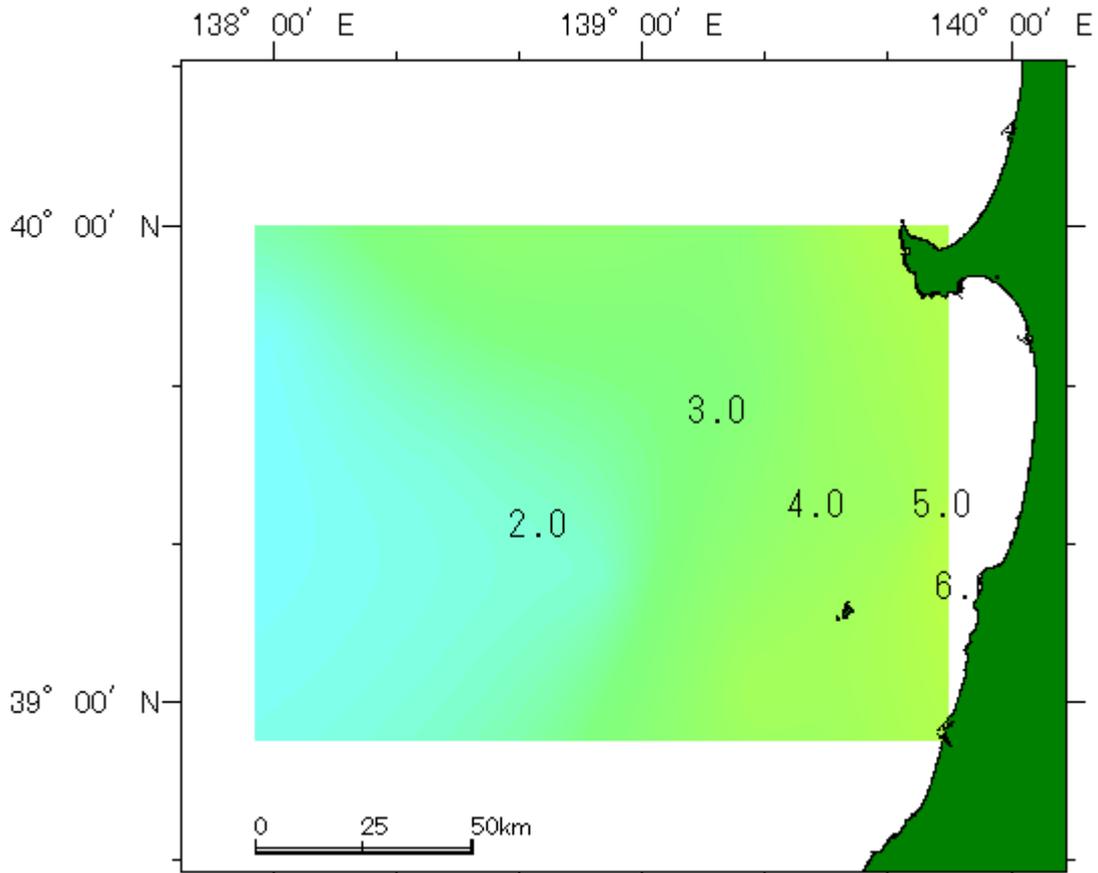


図8 水深200m層の水温分布

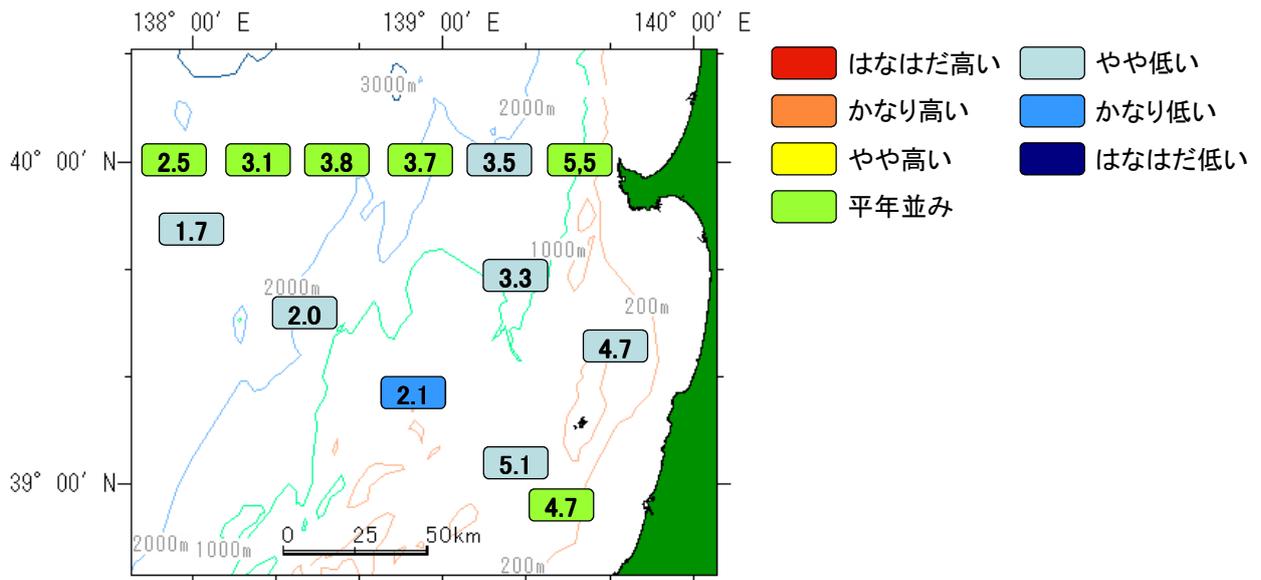


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

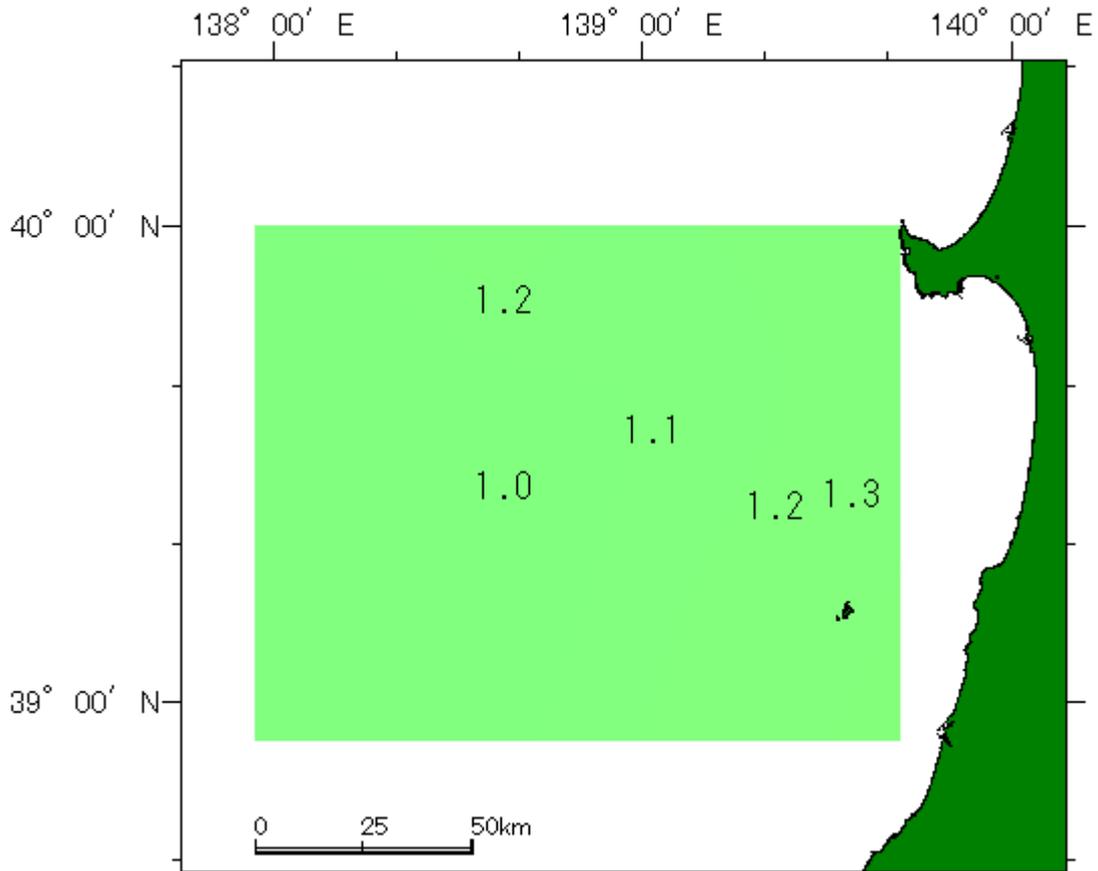


図9 水深300m層の水温分布

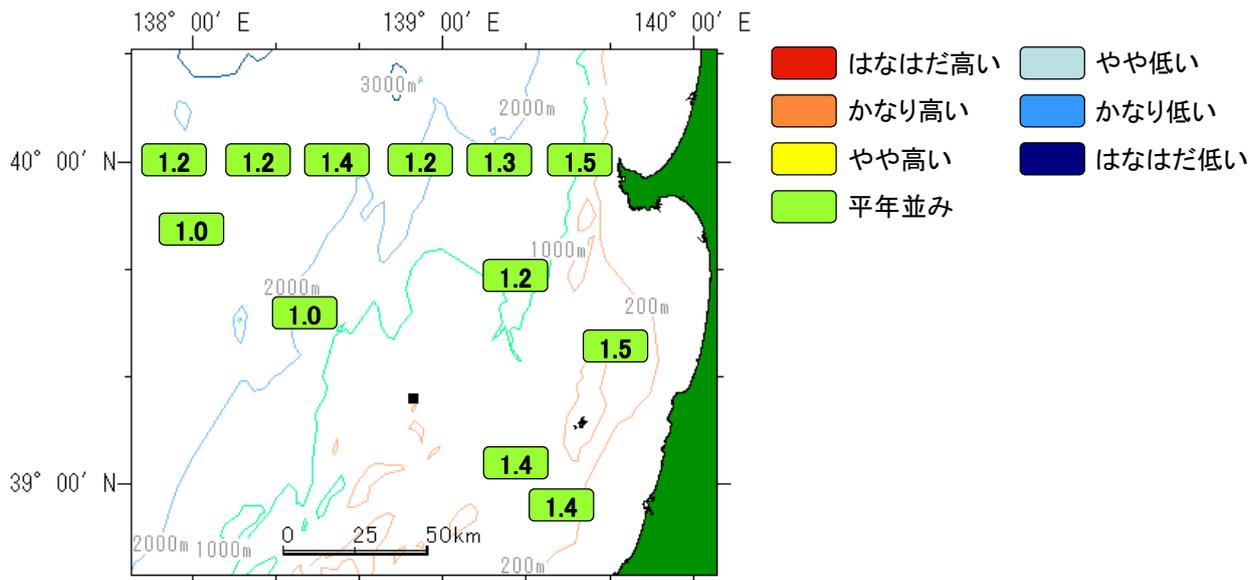


図10 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成27年2月)

漁業調査指導船「千秋丸」により1月30日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

今月はSt. 1および13のみの実施です。

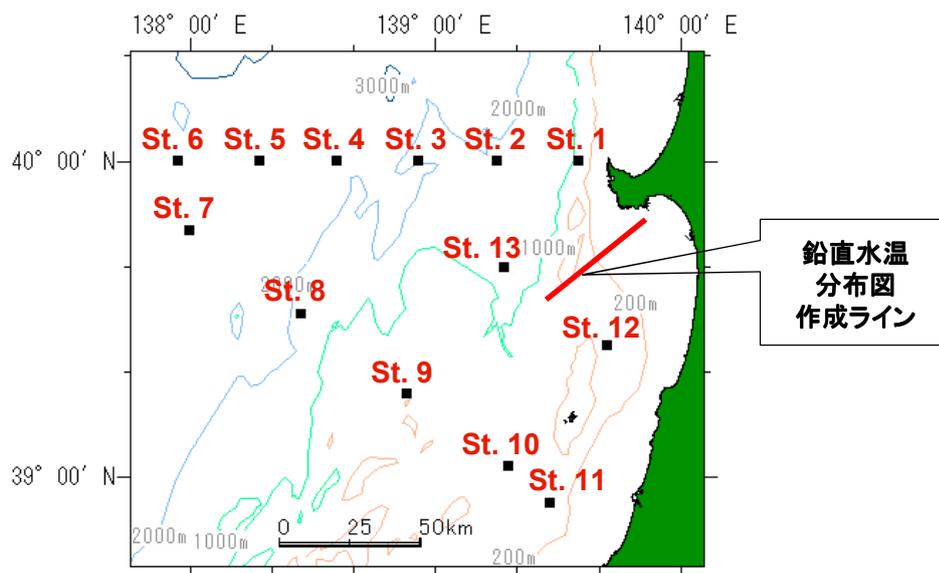


図1 調査船千秋丸による観測定点 (St. 1～13)

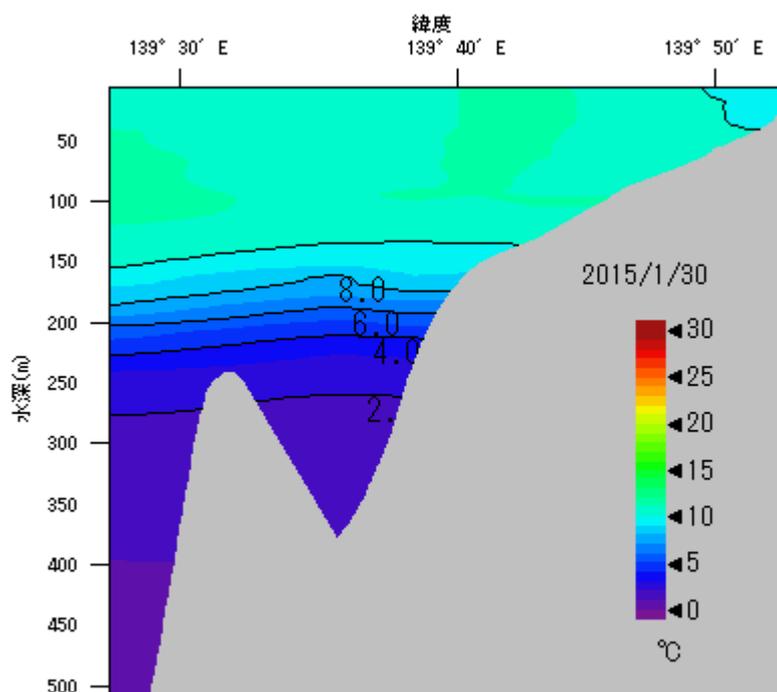


図2 図1における調査ラインの鉛直水温分布図

秋田県沖合域の水温状況 (平成27年3月)

漁業調査指導船「千秋丸」により3月16～17日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表 層(2ページ) おおむね「かなり低い」～「かなり高い」水温です。
 50 m層(3ページ) おおむね「かなり低い」～「やや高い」水温です。
 100m層(4ページ) おおむね「かなり低い」～「やや高い」水温です。
 200m層(5ページ) おおむね「やや低い」～「かなり高い」水温です。
 300m層(6ページ) おおむね「平年並み」～「はなはだ高い」水温です。

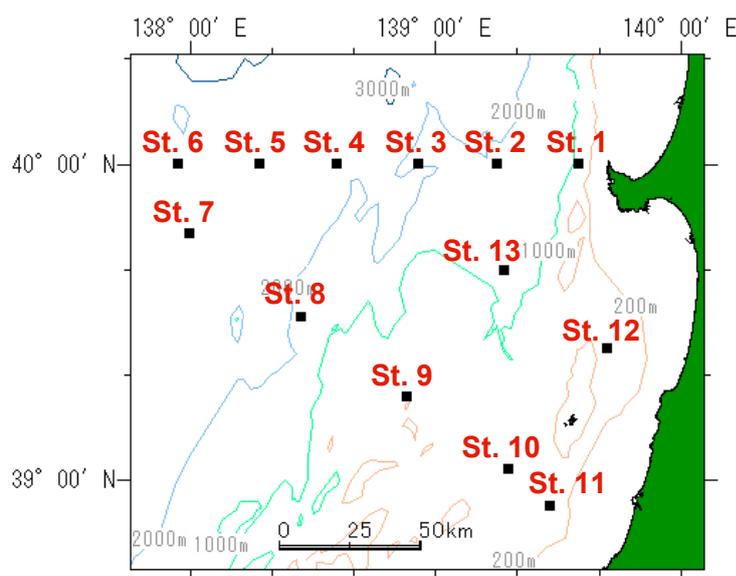


図1 調査船千秋丸による観測定点 (St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率: 約20年以上に1回)
■ かなり高い	+130以上200未満	(出現確率: 約10年に1回)
■ やや高い	+60以上130未満	(出現確率: 約4年に1回)
■ 平年並み	±60未満	(出現確率: 約2年に1回)
■ やや低い	-60以上130未満	(出現確率: 約4年に1回)
■ かなり低い	-130以上200未満	(出現確率: 約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率: 約20年以上に1回)

* 偏差 = (今月の観測値 - 平年値) / 標準偏差 × 100
 平年値: 1971～2000年までの平均値

<表層>

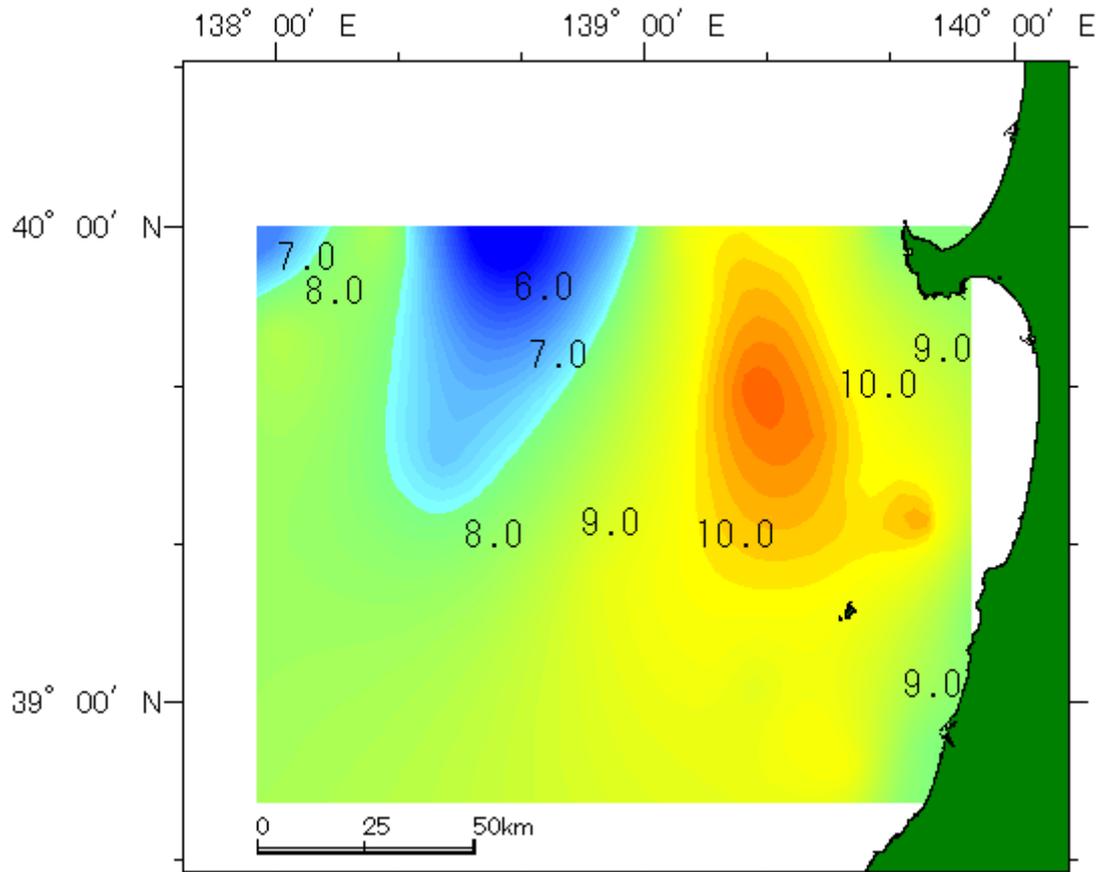


図2 表層の水温分布

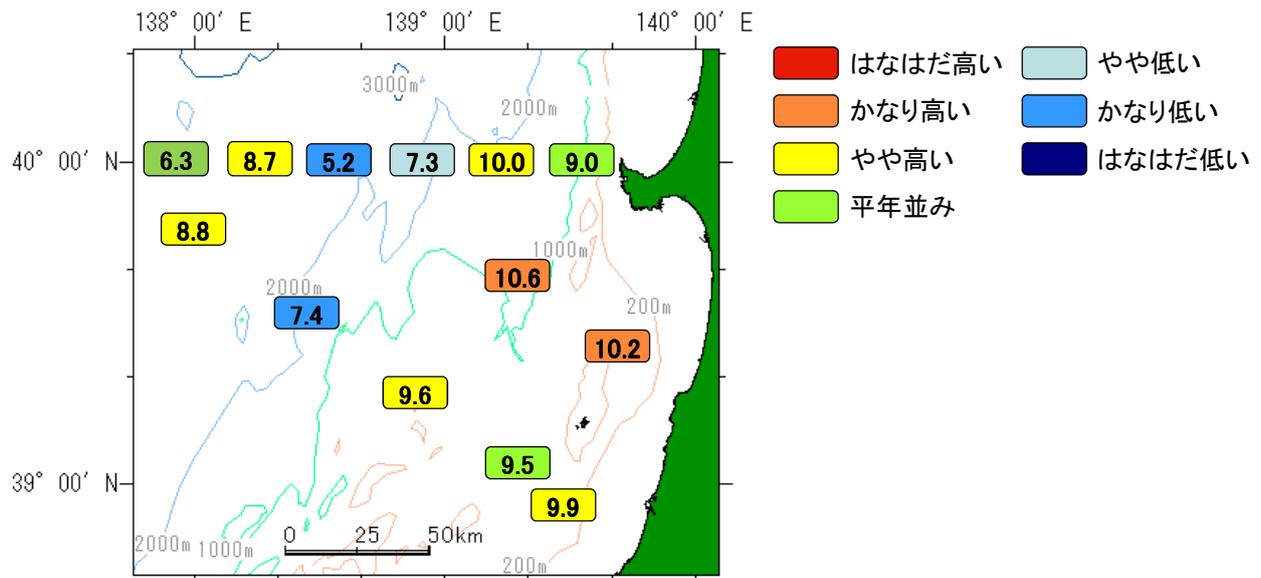


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

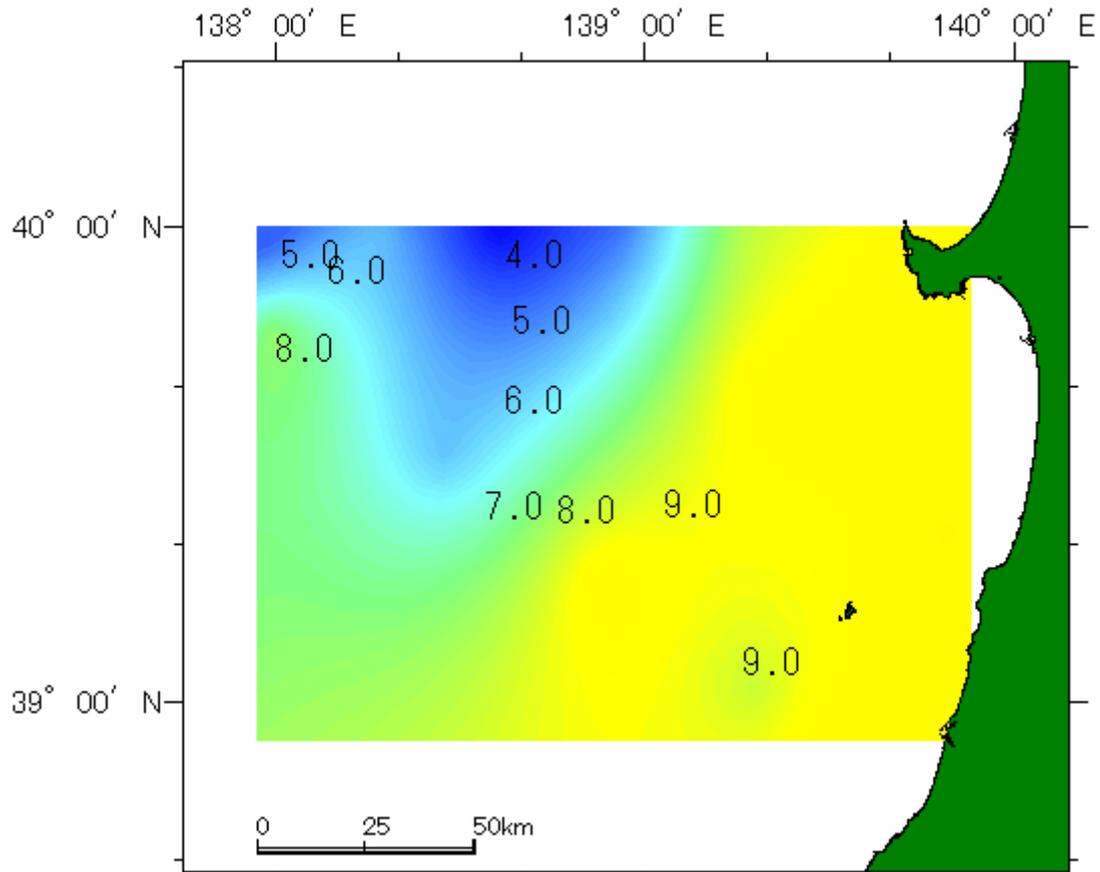


図4 水深50m層の水温分布

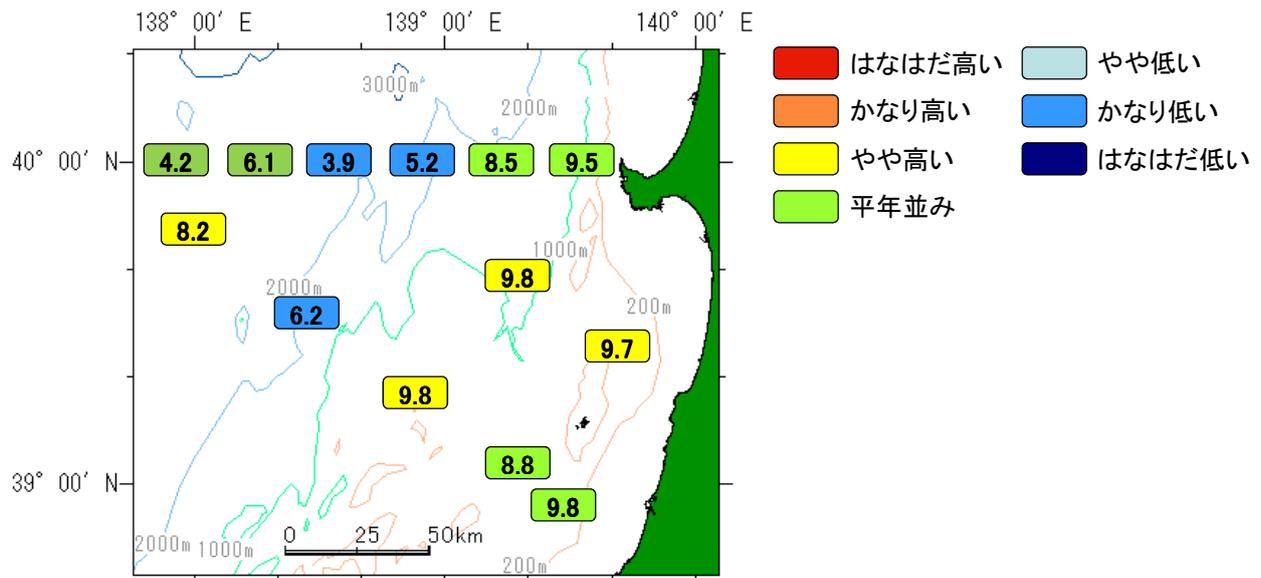


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

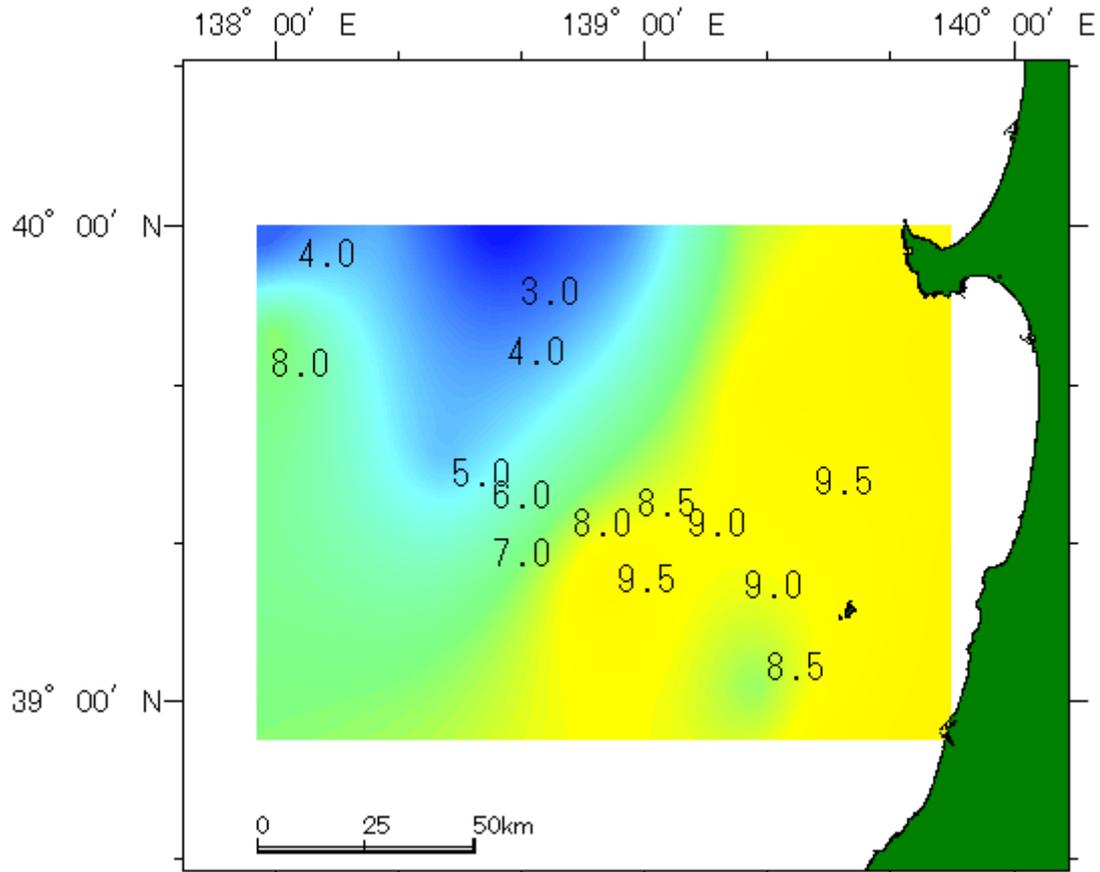


図6 水深100m層の水温分布

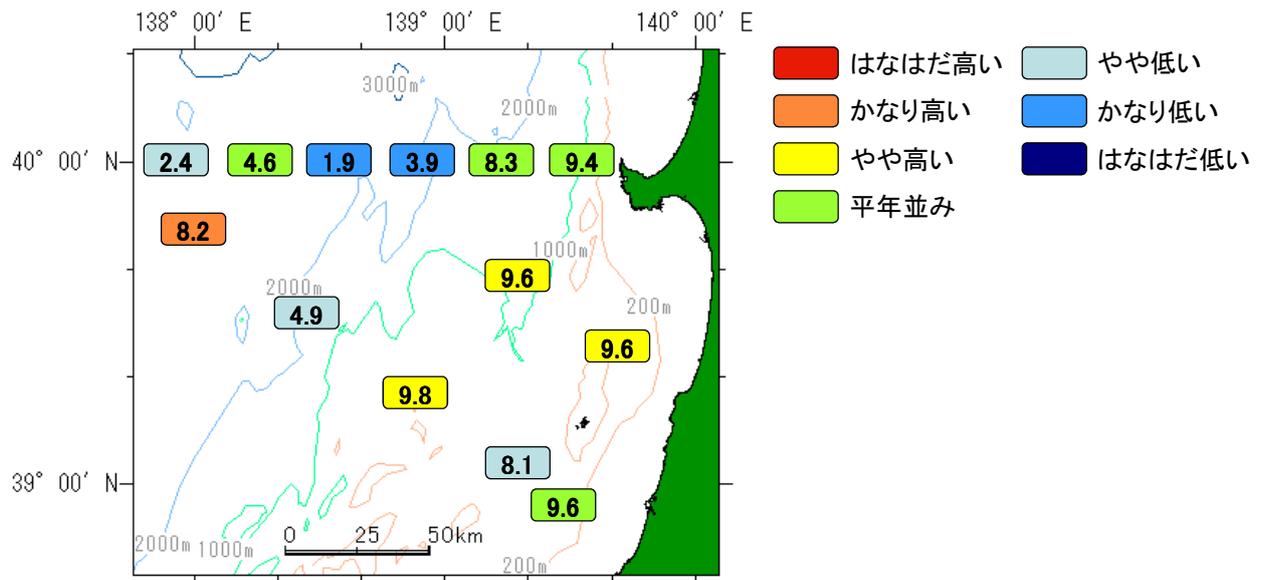


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

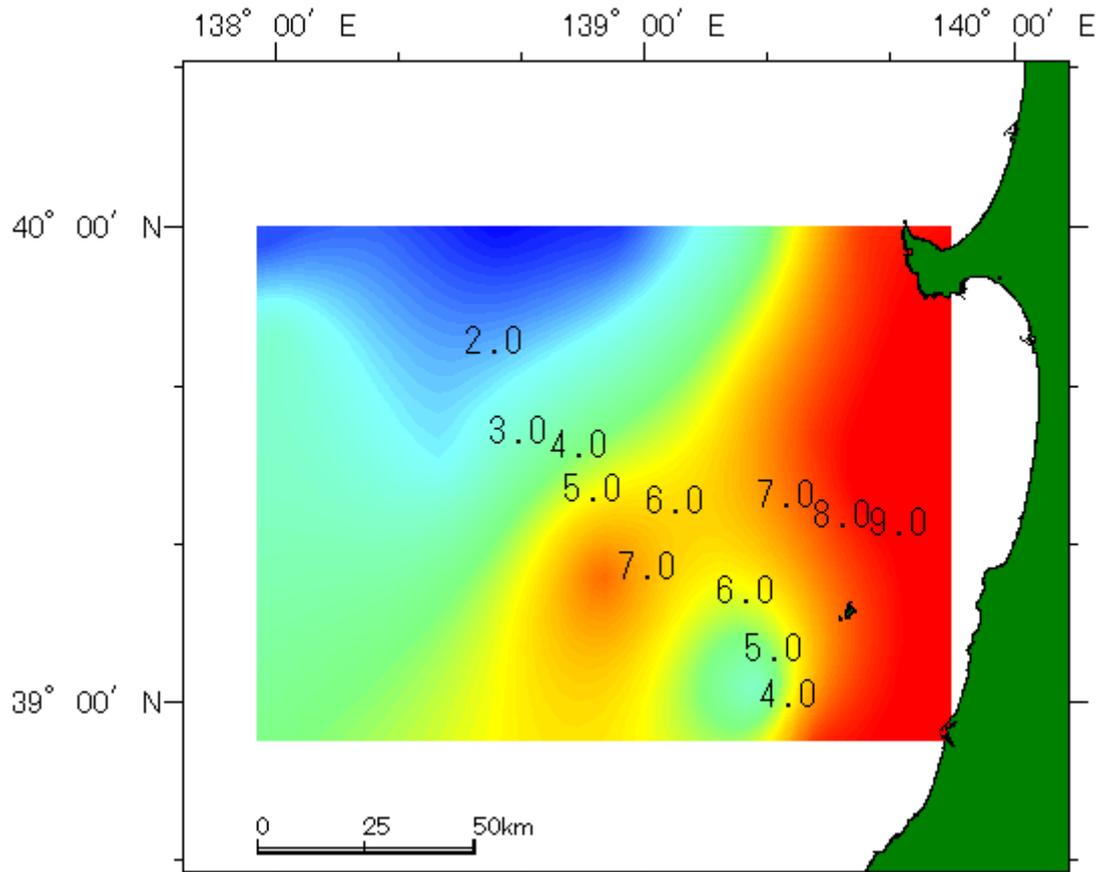


図8 水深200m層の水温分布

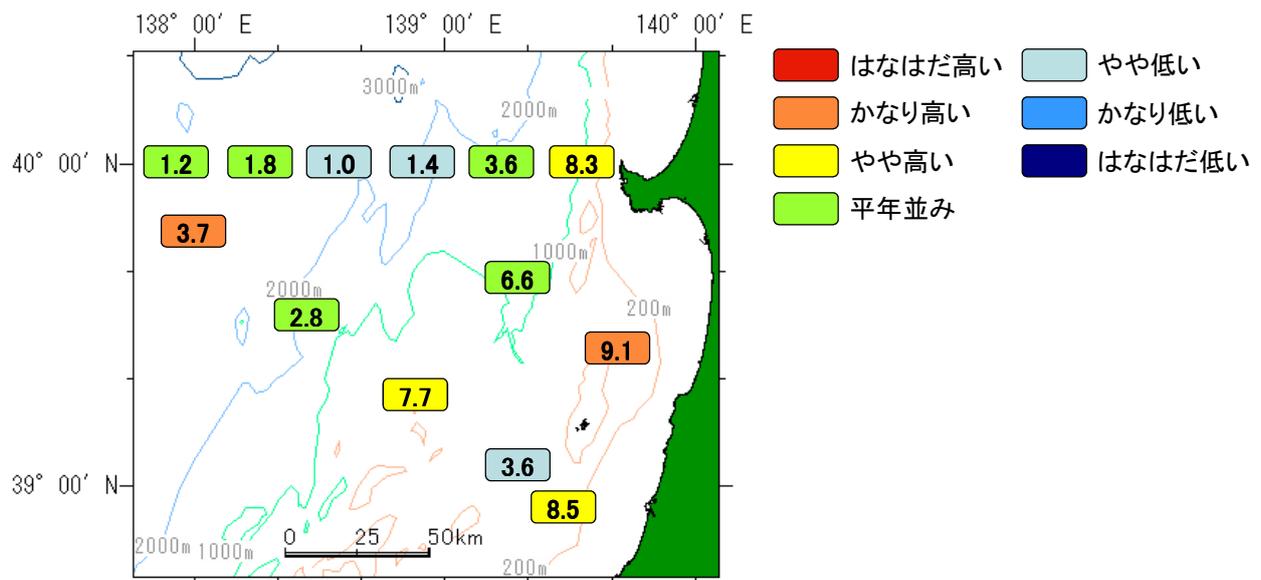


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

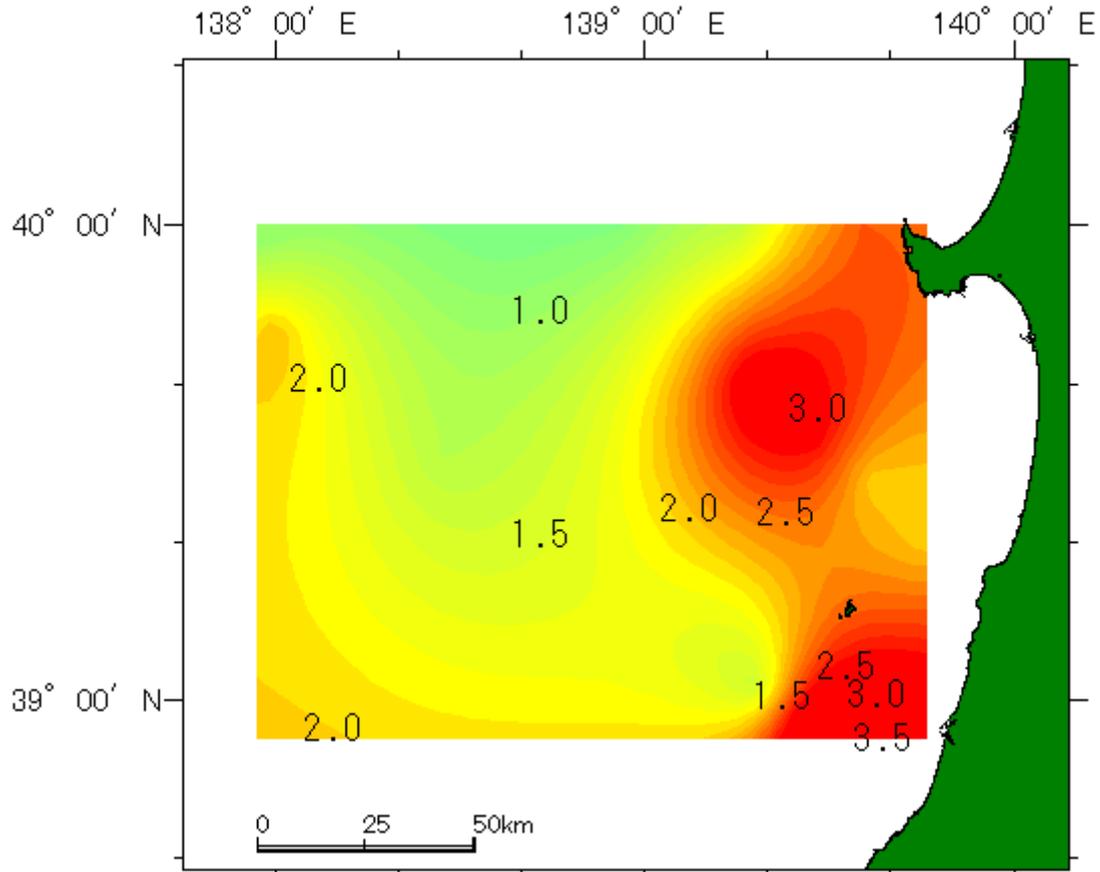


図10 水深300m層の水温分布

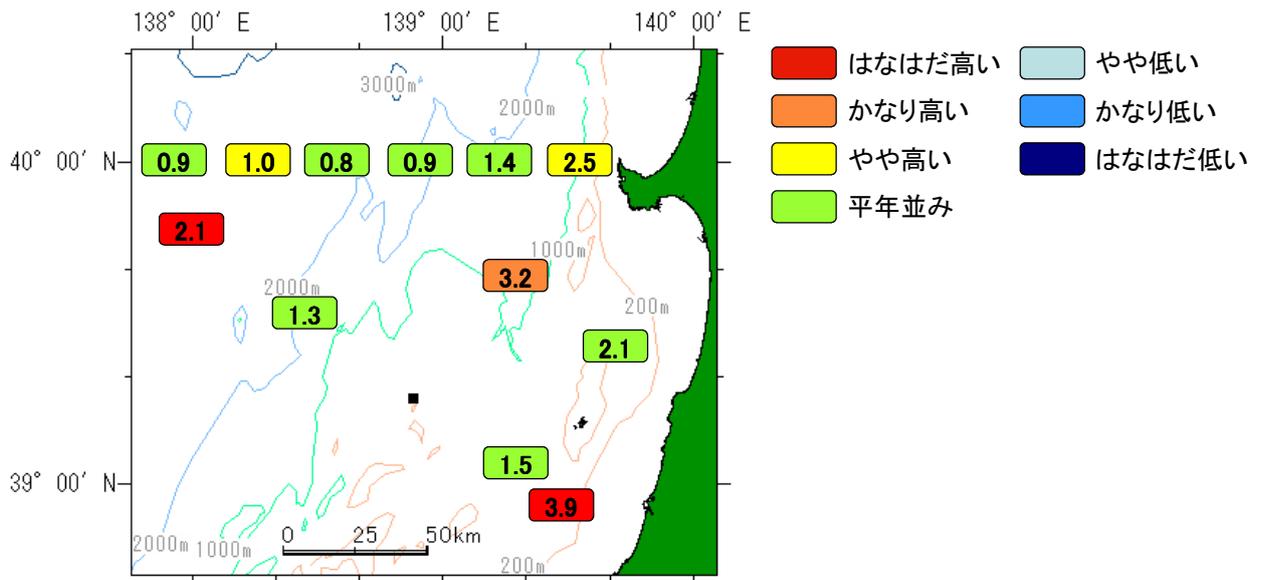


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)